
令和 8 年（ 2 0 2 6 年 ） 版

事 業 概 要



公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

目 次

I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会の概況

1 目 的	1
2 事 業	1
3 沿 革	1

II 組 織

1 組織図	8
2 役 員・評 議 員	8
3 職 員	9

III 施 設

10

IV 令和8年度事業計画

1 被爆者の健康診断・健康管理事業（公益事業1）	11
2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業1）	12
3 被爆者の援護福祉事業（公益事業2）	12
4 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業1）	12
5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3）	14
6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業）	15
7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	15

V 令和8年度予算

16

VI 令和7年度事業実績

1 健康診断事業	
(1) 被爆者健康診断	17
ア 被爆者一般・精密検査の実施	17
イ 令和7年度被爆者一般・精密検査実施状況	19
ウ 被爆者がん検診等の実施	24
エ 令和6年度被爆者がん検診等実施状況	26
オ 原爆被爆二世健康診断の実施	33
カ 健康管理の推進	34
キ 健康診断医療機器等の整備	34
ク 被爆者健康管理資料の整備	34
(2) 高齢者医療確保法・健康増進法等による健康診査等	
ア 健康診査等の実施	35
イ 令和7年度健康診査等実施状況	37
ウ 令和6年度がん検診等実施状況	37

エ 健康管理資料の整備	47
(3) 本協議会で発見した悪性新生物症例	48
2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業	
(1) 調査研究の継続実施	50
(2) 文献の収集	50
(3) 第65回原子爆弾後障害研究会での発表	50
3 被爆者の援護福祉事業	
(1) 被爆者相談	51
(2) 被爆者の援護措置	51
4 広島市健康づくりセンターの管理運営事業	
(1) 健康教育事業	52
(2) 子育て支援事業	53
5 検査診療及び人間ドック健診等の収益事業	54
6 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力	54
7 令和7年研究業績	55

VII 資 料

1 年度別被爆者数（広島市及び広島県）	56
2 年賀寄附金配分金による実施事業	58
3 日本自転車振興会補助金による実施事業	59
4 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業	59
5 広島県補助金による実施事業	60
6 広島市補助金による実施事業	61
7 日本高等学校教職員組合等からの寄付金	62
8 全国から寄せられた寄付金	64
9 核兵器廃絶・平和建設広島県民会議からの寄贈物品	68
10 日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品	69
11 職員	70

I 公益財団法人広島原爆障害対策協議会の概況

1 目 的

この法人は、原爆障害の研究及び原爆被爆者の健康管理の対策並びに原爆被爆者の援護の対策について審議し、その推進を図るとともに、原爆被爆者をはじめとする住民の健康の維持増進に寄与することを目的とする。

2 事 業

この法人は前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 原爆被爆者の健康管理及び健康指導を行う事業
- (2) 原爆被爆者の障害及び健康管理に関する研究
- (3) 原爆被爆者の生活・健康・医療に関する相談及び原爆被爆者に対する援護を行う事業
- (4) 広島市健康づくりセンターの運営管理
- (5) 原爆被爆者の健康診断及び住民の健診事業の受託
- (6) その他目的達成に必要な事業

3 沿 革

昭和 20 年 8 月 6 日原子爆弾攻撃によって潰滅的な被害を蒙った広島市の被爆生存者達は、永い占領期間中悲惨な状態のまま放置されていたが、昭和 26 年の講和条約の締結、占領政治の終結を契機として「被爆者を救え」という声がおこった。

なかでも日頃ケロイド患者に接する広島市医師会・外科会に属する医師たちは、広島市医師会を動かして県・市当局に働きかけた。その結果、昭和 28 年 1 月、原爆障害者の医療を組織的に推進するために、広島県・広島市をはじめ、県・市医師会、大学医学部、官公立病院等が一体となって、「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）を結成して活動を開始、昭和 31 年 4 月には「財団法人広島原爆障害対策協議会」に改組し、被爆者の健康診断、健康管理に関する調査研究、援護に取り組んできた。

平成元年 9 月、「広島市総合健康センター」への移転後は、一般市民を対象とする健康診査や健康増進事業、健康教育事業を加え、被爆者をはじめ全ての市民の健康の維持・増進、被爆者の福祉向上のために各種事業を実施している。平成 24 年 4 月には、広島県知事から公益財団法人として認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行した。

昭和 28 年 1 月 「広島市原爆障害者治療対策協議会」（略称「原対協」）の設立
事務局を広島市社会課内に設置

昭和 29 年 1 月 被爆者の合同診察を開始

2 月 原爆障害者の実態調査を実施

10 月 事務局を広島市民病院内に移設

昭和 30 年 5 月 原爆乙女 25 名の渡米治療に協力

昭和 31 年 4 月 「財団法人広島原爆障害対策協議会」（略称「広島原対協」）に改組、認可

9 月 原爆病院の完成とともに事務局を同病院内に移設

昭和 32 年 9 月 第 9 回保健文化賞、厚生大臣の表彰を受賞

昭和 33 年 2 月 原対協援護事業として原爆被爆者のうち生活困窮者を救済するため、生活援護金の給付を開始

11 月 お年玉付郵便葉書寄付金の配分団体に指定

昭和 34 年 6 月	第 1 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 36 年 4 月	「広島原爆被爆者福祉センター」建設工事落成
5 月	「広島原爆被爆者福祉センター」落成とともに事務局を同センター内に移設
6 月	第 3 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	被爆者健康診断、職業補導、生活相談等の業務を開始
8 月	『広島原爆医療史』を発刊
昭和 38 年 10 月	「広島原爆被爆者健康管理所」を開設
11 月	第 5 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 39 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の暖房設備工事完成
9 月	オデルカ・カメラを搭載した健康診断車「平和号」で被爆者の胃出張検診を開始
昭和 40 年 10 月	第 7 回「原子爆弾後障害研究会」を開催し研究講演集『20 年のまとめ』を発刊
昭和 42 年 5 月	精密健康診断車(ひかり号)を購入
6 月	日本自転車振興会・島根県・広島市・江津市の補助金を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を建設、被爆者の入湯療養を開始
昭和 43 年 7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の新館増築工事並びに旧館改造工事落成
10 月	第 9 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
11 月	自動分析機(オートアナライザー)を設置
昭和 44 年 2 月	日本自転車振興会・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」暖房設備工事等完成
3 月	テレビジョン X 線カメラを設置
8 月	勤労被爆者のため、広島原爆被爆者福祉センターで日曜健診を開始 続広島原爆医療史『被爆者とともに』を発刊
昭和 45 年 4 月	子宮がん検診を開始
5 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の増築工事落成
6 月	第 11 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 46 年 3 月	「広島原爆被爆者福祉センター」の増改築、空調設備改良工事完成
6 月	第 12 回「原子爆弾後障害研究会」を開催 「広島原爆被爆者福祉センター」開設 10 周年記念展示会を開催
昭和 47 年 5 月	全自動化学分析装置(ハイゼルマーク X)、自動血球計算装置(コールターカウンター)を設置
昭和 48 年 4 月	広島市の周辺町村合併にともなう被爆者健診対象者の大幅増加(約 17,000 人)により、出張健診班を 2 班編成
6 月	第 14 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	被爆二世の不安を除去するため、被爆者の子に対する健康診断を開始(広島市委託事業)
昭和 49 年 5 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を購入
7 月	広島県・広島市からの助成により「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷房設備工事完成
12 月	肺機能検査機(パンスパイロコンピューター)を設置
昭和 50 年 4 月	勤労被爆者のため月 1 回夜間健診を開始
6 月	第 16 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 51 年 6 月	胃集検用テレビレントゲン設置及び自動血球計算装置を増設
昭和 52 年 6 月	第 18 回「原子爆弾後障害研究会」を開催

昭和 53 年 7 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室増改築等工事完成 X 線テレビジョン設置及び胸部一般撮影用 X 線装置を更新整備
8 月	勤労被爆者のため月 1 回日曜出張健診を開始
昭和 54 年 4 月	被爆者の胃検診(昭和 62 年に名称を「胃がん検診」に変更)を開始(広島市委託事業)
6 月	第 20 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 55 年 2 月	国の施策による被爆者二世健康診断を開始
8 月	自動血球分類装置(Diff-3)を設置
昭和 56 年 5 月	第 22 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	「広島原爆被爆者福祉センター」開設 20 周年記念パネル展示会を開催
10 月	広島県・広島市の補助を受け「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋根防水改修その他工事完成
昭和 57 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2 号車)を購入
昭和 58 年 6 月	第 24 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
昭和 59 年 9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を更新整備
昭和 60 年 6 月	第 26 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の車庫上屋根新設工事等完成
昭和 61 年 7 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR501(立位専用システム)設置及び胃透視用 X 線テレビ装置更新整備
昭和 62 年 3 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR502(臥位専用システム)設置及び一般撮影用 X 線装置更新整備
4 月	被爆者の肺がん検診を開始(広島市委託事業)
6 月	第 28 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の食堂拡張工事等施設整備工事完成
昭和 63 年 8 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR201、CR 専用 X 線透視撮影台及び CR 用光ディスク画像ファイル装置を設置
8 月	国の施策による被爆者のがん検診(胃がん、肺がん、乳がん、子宮がん、多発性骨髄腫)を開始
平成元年 3 月	自動血球計算装置(コールターカウンター)を更新整備及びフィルムデジタイザー、光ディスク画像ファイル装置を設置
6 月	第 30 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9 月	新規事業の受託に対応するため、寄附行為の一部を改正 「広島市総合健康センター」への移転に当たり、「広島原爆被爆者福祉センター」の施設を広島市に寄贈 「広島市総合健康センター」の開館に伴い、診療所名を「広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター」に改称 老人保健法健康診査及び結核定期健康診断を開始 CR 専用 X 線透視撮影台及び心電図自動解析データファイリングシステムを設置
平成 2 年 4 月	老人保健法基本健康診査(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)・結核定期健康診断の集団健診及び老人保健法・被爆者の出張がん検診(安佐南区、安佐北区、安芸区を除く)を開始

	8 月	磁気共鳴画像診断装置(MRI)を設置
平成 3 年	3 月	夜間健診を中止
	4 月	被爆者の大腸がん検診を開始(広島県・市委託事業)
	6 月	第 32 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	8 月	X 線骨密度測定装置及び超音波診断装置を設置
平成 4 年	4 月	被爆者・老人保健法の安芸区の出張がん検診を開始
	5 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR7501 を更新整備
	8 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(2 号車)を更新整備
	8 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の内部・外部改修工事等施設整備工事完成
	10 月	国の施策による被爆者の大腸がん検診を開始
	11 月	老人保健法による大腸がん検診を開始
平成 5 年	4 月	被爆者・老人保健法の安佐南区・安佐北区の出張がん検診を開始
	6 月	第 34 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	8 月	胃集検用 X 線撮影装置(デジタルラジオグラフィ)を更新整備
平成 6 年	4 月	事務局組織改正。2 課 1 室を 3 課 2 室制に改める。
	5 月	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 を更新整備
	9 月	自動血球計算装置搭載健康診断車(1 号車)を更新整備
平成 7 年	4 月	被爆者の骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
	5 月	原爆被爆 50 周年記念特別講演会を開催
		第 36 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	6 月	内視鏡デジタルファイリングシステムを更新整備
	8 月	CR 用 X 線透視撮影装置を更新整備
	10 月	市民を対象とする骨粗鬆症検診を開始(広島市委託事業)
平成 8 年	4 月	老人保健法による肺がん集団検診を開始
	7 月	CR 用 X 線透視撮影装置を更新整備
	8 月	既設 MRI 装置をバージョンアップ
平成 9 年	4 月	市民を対象とするマンモグラフィによる乳がん検診を開始(広島市委託事業)
	6 月	第 38 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	7 月	X 線骨密度測定装置を更新整備
	8 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の浴室・浴槽等改修工事完成
平成 10 年	8 月	糖尿病予防対策事業を開始
		「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の屋上陸屋根防水工事完成
		コンピューテッドラジオグラフィ CR9000 及び心電図データマネジメントシステムを更新整備
	10 月	C 型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)を開始(広島市委託事業)
平成 11 年	6 月	第 40 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
	9 月	DR システム X 線テレビ装置を整備
平成 12 年	9 月	超音波診断装置を更新整備
平成 13 年	1 月	MRI 装置を更新整備
	6 月	第 42 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
平成 14 年	3 月	デジタル超音波診断装置を更新整備
	7 月	自動血球計算装置を更新整備
	8 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」の冷暖房設備改修工事完成

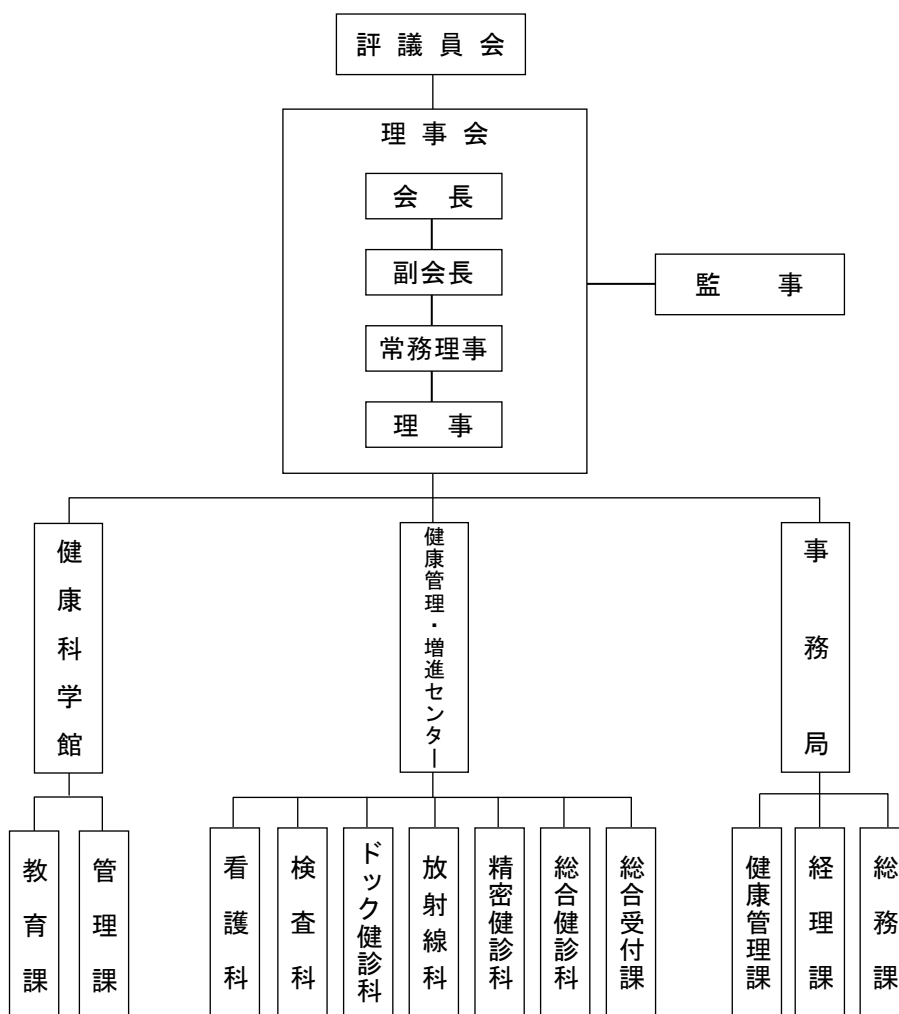
平成 15 年 4 月	市民の C 型肝炎ウイルス検査(肝がん検診)に B 型肝炎ウイルス検査を追加(広島市委託事業)
6 月	第 44 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	内視鏡検査システムを更新整備
平成 16 年 1 月	乳房 X 線撮影装置を更新整備
	CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを更新整備
4 月	第二次 CRX 線画像診断のオンラインネットワークシステムを整備
8 月	全自動血球計算装置搭載健診車を更新整備
平成 17 年 6 月	第 46 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	総合健診電算システムを更新整備
12 月	乳房 X 線撮影装置を整備
12 月	医用画像情報システムサーバーソフトウェアを拡張整備
平成 18 年 3 月	職業補導事業を廃止
4 月	マンモグラフィによる被爆者乳がん検診を開始
	老人保健法基本健康診査に生活機能評価を追加して実施
9 月	デジタル X 線透視撮影装置更新整備
10 月	被爆者健診に対する基本健康診査(生活機能評価)の実施
12 月	全自動血球計算装置搭載健診車更新整備(1 号車)
平成 19 年 1 月	X 線骨密度測定装置更新整備
6 月	第 48 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	X 線 CT 撮影装置整備
	車両競技公益資金記念財団・広島県・広島市の補助金の交付を受け、「原爆被爆者有福温泉療養研究所」外壁・厨房等の施設改善工事完成
平成 20 年 5 月	特定健康診査・特定保健指導を開始(広島市委託事業)
8 月	超音波診断装置更新整備
11 月	MRI 装置のアップグレード整備
平成 21 年 2 月	医用画像情報システム更新整備
3 月	デジタル胃集検 X 線透視撮影装置更新整備
4 月	日曜健診(第 1・第 3 日曜日)を午前のみの実施とし、第 3 日曜日に胃がん・肺がん検診を開始
6 月	第 50 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
10 月	女性特有のがん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
平成 22 年 1 月	医用画像情報システムビューワー更新整備
4 月	社会保険加入者の被扶養者の集団特定健康診査を開始
9 月	超音波画像診断装置更新整備
	全自動電気泳動装置更新整備
平成 23 年 3 月	FPD デジタル X 線透視撮影装置更新整備
4 月	日曜健診(第 3 日曜日)で乳がん・子宮がん検診を開始
6 月	第 52 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
9 月	広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念式典を開催
11 月	働く世代への大腸がん検診(無料クーポン券)の開始(広島市委託事業)
12 月	広島原爆被爆者福祉センター開設 50 周年記念パネル展を開催

平成 24 年 3 月	広島市健康づくりセンター 1 階（乳がん・子宮がん検診エリア等）改修工事完成
3 月	超音波画像診断装置更新整備
4 月	広島県知事の認定を受け、「公益財団法人広島原爆障害対策協議会」に移行
4 月	土曜健診を第 2・第 4・第 5 土曜日の実施に変更し、全ての土日健診（第 2・第 4・第 5 土曜日及び第 1・第 3 日曜日）で胃がん・肺がん検診を開始
平成 25 年 3 月	電子内視鏡ビデオ情報システム更新整備
	CR 画像制御装置更新整備
4 月	被爆者一般健診会場において肺がん検診の同時実施を開始 人間ドック等健診業務を開始（広島市医師会臨床検査センターから移管）
6 月	第 54 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
10 月	電子内視鏡システム更新整備
12 月	「原爆被爆者有福温泉療養研究所」を廃止
平成 26 年 2 月	医用画像情報システム更新整備
5 月	広島市健康づくりセンター 1 階（総合受付・一般健診エリア）改修工事
9 月	生理検査波形システム更新整備
12 月	内視鏡情報管理システム更新整備
平成 27 年 2 月	総合健診システム稼働
3 月	健康増進事業終了
5 月	上部消化管汎用ビデオスコープ増設
6 月	第 56 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
8 月	乳房用 X 線撮影装置更新整備
平成 28 年 2 月	働く世代への大腸がん検診（無料クーポン券）の終了（広島市委託事業）
7 月	内視鏡による被爆者胃がん検診を開始
8 月	自動血球計算装置更新整備
9 月	健診業務 LAN と情報処理系 LAN を分離したシステム構築
平成 29 年 4 月	内視鏡による市民胃がん検診を開始
6 月	第 58 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
7 月	上部消化管汎用ビデオスコープ増設
9 月	妊娠を希望する女性またはその同居者を対象とする風疹抗体検査を開始
平成 30 年 4 月	集団健診会場において市民の骨粗鬆症検診を開始（広島市委託事業）
8 月	CT 撮影装置更新整備
10 月	超音波画像診断装置更新整備
平成 31 年 4 月	MRI 装置更新整備
	特定健康診査及び市民の集団大腸がん検診を安芸区で開始
	昭和 37 年（1962 年）4 月 2 日～昭和 54 年（1979 年）4 月 1 日生まれの男性（公的な風しん予防接種を行っていない世代）を対象とする風疹抗体検査を開始
令和元年 6 月	第 60 回「原子爆弾後障害研究会」を開催
令和 2 年 4 月	土曜健診を第 2・第 4 土曜日に実施（第 5 土曜日、4 月・8 月全ての土曜健診を中止） 4 月の第 1 日曜日、8 月全ての日曜健診を中止
9 月	超音波画像診断装置更新整備
令和 3 年 1 月	医用画像情報システム等更新整備
4 月	夜間の集団検診（健康診査、肺がん・大腸がん・乳がん検診）を開始（広島市委託事業）

	協会けんぽ被扶養者を対象とする集団検診（特定健康診査、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診）を開始
6月	第61回「原子爆弾後障害研究会」を開催
10月	将来構想検討委員会の設置
令和4年3月	総合健診システム更新整備
8月	X線骨密度測定装置更新整備
9月	超音波画像診断装置更新整備
12月	将来構想検討委員会より答申書の提出
令和5年3月	上部消化管汎用スコープ更新整備
	公益財団法人広島原爆障害対策協議会創立70周年記念講演会を開催
6月	第63回「原子爆弾後障害研究会」を開催
12月	情報セキュリティシステム更新整備
令和6年3月	マンモグラフィCAD整備
	協会けんぽ被扶養者を対象とする集団検診（特定健康診査、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診）を終了
7月	電子内視鏡システム更新整備
令和7年3月	昭和37年（1962年）4月2日～昭和54年（1979年）4月1日生まれの男性（公的な風しん予防接種を行っていない世代）を対象とする風疹抗体検査を終了
9月	乳房X線撮影装置更新整備
10月	第65回「原子爆弾後障害研究会」を開催
12月	生理検査システム更新整備

Ⅱ 組 織

1 組 織 図



2 役 員・評 議 員

公益財団法人広島原爆障害対策協議会 役員名簿

(令和8年6月25日現在)

役 職	氏 名	職 名
会 長	松 村 誠	広島県医師会長
副 会 長	長 崎 孝 太 郎	医療法人厚生堂長崎病院理事長
副 会 長	山 本 匡	広島市医師会長
常務理事	佐 々 木 博	バスセンター佐々木内科医院長
常務理事	横 山 行 男	医療法人横山内科医院長
常務理事	和 田 厚 志	広島原爆障害対策協議会事務局長
理 事	岩 本 博 志	広島大学大学院医系科学研究科分子内科学教授
理 事	小 田 和 生	広島市健康福祉局原爆被害対策部長
理 事	上 田 久 仁 子	広島市健康福祉局保健部長
理 事	川 本 陽 子	広島県健康福祉局被爆者支援課長
監 事	山 口 道 子	一般財団法人広島市都市整備公社監事
監 事	福 原 千 史	福原リハビリテーション整形外科・内科医院長

氏 名	職 名
安 達 伸 生	広島大学病院長
有 馬 準 一	広島赤十字・原爆病院長
板 本 敏 行	県立広島病院長
瓜 生 賢	広島市歯科医師会長
大 久 保 雅 通	内科・糖尿病 久安医院長（広島市内科医会）
加 賀 谷 哲 郎	広島市健康福祉局保健医療担当局長
北 原 加 奈 子	広島県健康福祉局長
國 重 俊 彦	広島原爆被爆者援護事業団理事長
坂 井 浩 明	日本赤十字社広島県支部事務局長
豊 見 雅 文	広島県薬剤師会長
八 條 範 彦	広島市議会議長
東 幸 仁	広島大学原爆放射線医科学研究所長
平 尾 健	広島市医師会副会長
松 川 啓 義	広島市民病院長

(50 音順)

3 職 員

(令和8年7月1日現在、単位：人)

事務局		健康管理・増進センター		健康科学館		
職種	人員	職種	人員	職種	人員	
事 務 局 長	1	医 師	所 長	館 長	1	
事 務 職 員	9 (1) [4]		副 所 長	0	事 務 職 員	3<4>
検 査 技 師	1 (1)		部 長	0	栄 養 士 嘱 託	<1>
自 動 車 運 転 手	3 [1]		常 勤 医 師	4		
			非 常 勤 医 師	22		
			読 影 委 員	30		
			看 護 師	7 (6) <1> [1]		
			検 査 技 師	16 (9) [1]		
			放 射 線 技 師	7 [2]		
			栄 養 士	2		
			薬 剤 師	1		
			事 務 職 員	11 [8]		
小 計	14 (2) [5]	小 計	101 (15) <1> [12]	小 計	4<5>	
				合 計	119 (17) <6> [17]	

注1：（ ）は本会再雇用職員で別掲

注2：< >は嘱託職員で別掲

注3：[]は無期転換職員で別掲

Ⅲ 施 設

広島市総合健康センターは、原爆被爆者を含めたすべての市民の健康をまもる拠点施設として、広島市と広島市医師会と本協議会の三者協力のもとに建設されたものであり、本協議会は、平成元年 9 月、この広島市総合健康センターの開館に伴い、国泰寺町の原爆被爆者福祉センターから移転した。

この敷地及び建物は広島市と広島市医師会がそれぞれ区分所有する合築施設であり、広島市が設置する施設は、「広島市健康づくりセンター」と称せられている。

本協議会は広島市が設置した「広島市健康づくりセンター」の管理運営を広島市から指定管理者の指定を受け、その業務を行っている。

- 1 所 在 地 広島市中区千田町三丁目 8 番 6 号
- 2 敷 地 9,622.67 m²（広島市 5,122.67 m²、広島市医師会 4,500.00 m²）
- 3 建 物 鉄筋コンクリート造 地下 1 階、地上 6 階建 延べ 15,916.26 m²

利 用 区 分	面 積
健康管理・増進センター専用	3,440.79 m ²
事 務 局 専 用	1,000.42
健 康 科 学 館 専 用	2,442.13
広島市・原対協事業共用部分	2,741.20
広 島 市 医 師 会 専 用	3,199.19
広島市・広島市医師会共用部分	3,092.53
合 計	15,916.26

- 4 事 業 費 約 90 億円（広島市約 65 億円、広島市医師会約 25 億円）

Ⅳ 令和8年度事業計画

本協議会は、長年にわたり被爆者や市民の健康管理及び健康の維持増進に取り組んできており、被爆者健診では広島市全体の実施件数の約3分の2(令和7年度63.5%)を本協議会が担っている。

しかし、被爆者の減少・高齢化、市民の健診ニーズの多様化、他の医療機関の健診機能の充実が進んでいる。

こうした環境の中、令和8年度も引き続き、1)「被爆者の健康診断・健康管理事業」、「被爆者の健康管理に関する調査研究事業」及び「被爆者の援護福祉事業」、2)「市民の健康診断・健康管理事業」、3)「検査・診療事業」、4)「人間ドック健診事業」、5)広島市の指定管理者として本協議会が入居している「広島市健康づくりセンターの管理運営」及び「健康教育事業・子育て支援事業」等を行う。

なお、事業の実施にあたり、以下の項目について重点的に取り組む。

- ・受診者・利用者へのサービス向上及び受診リピート率の向上
- ・被爆者の減少や市民の受診機会拡大に応じた出張(集団)健診の見直し
- ・健診・検査事業の精度管理の向上、検査機器等の更新整備を行う。
- ・各種研修に職員を積極的に参加させ、職員の資質向上を図る。
- ・持続的な組織運営のため、事業規模に見合う人員配置と業務の効率化を図る。

1 被爆者の健康診断・健康管理事業(公益事業1)

(1) 健康診断の実施

① 被爆者健康診断の実施

ア 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、祝日を除く第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日(※)にも各種健診を実施する。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮がん検診は第3日曜日のみ実施。)

(※) 4月は第3日曜日のみ実施、8月は実施しない。

イ 広島市健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での出張健診を以下のとおり実施する。

被爆者の減少により、単独実施の需要が少なくなることを踏まえ、住民の健診との合同実施を拡大させることで、被爆者の受診機会の維持を図る。また、被爆者の高齢化等を考慮し、地域の特性に応じて出張健診会場までの送迎を行う。

一 般 検 査 (※) 302 回

(※) 肺がん検診、大腸がん検診及び多発性骨髄腫検診を含む。

胃 が ん 検 診 109 回

婦 人 科 検 診 79 回

② 被爆二世健診の実施

広島市健康づくりセンター及び出張健診会場において実施する。

③ 広報及び受診勧奨の実施

出張健診の日程等は、広島市の広報紙及び本協議会のホームページで周知を図る。

また、広島市健康づくりセンターでの被爆二世健康診断を希望する受診者に対し、受診勧奨を実施する。

【実施目標】

一 般 検 査	7,800 件	精 密 検 査	7,800 件
胃がん検診(X線)	100 件	胃がん検診(内視鏡)	450 件
肺 が ん 検 診	4,500 件	乳 が ん 検 診	700 件
子 宮 が ん 検 診	450 件	大 腸 が ん 検 診	2,800 件

多発性骨髄腫検診	5,300 件	骨粗鬆症検診	1,500 件
被爆二世健康診断	3,300 件		

（２）健康管理の推進

- ① 各種検診データを基に、広島大学大学院医系科学研究科、同原爆放射線医科学研究所、公益財団法人放射線影響研究所等の協力のもと、悪性新生物の早期発見に努める。
- ② 糖尿病・脂質異常症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症について、健診結果に基づき、必要に応じて保健指導、栄養指導を行う。

（３）健康診断医療機器等の整備

検査機器の老朽化に対応するため、一般X線撮影装置等の更新を行う。

（４）被爆者健康管理資料の作成等

受診者の健診資料（健康診断個人票・心電図所見・がん症例報告等）を集計して統計資料を作成する。

また、本協議会が長年集積してきた膨大な健診結果等について、関係機関と協議のもと、取り扱いを検討する。

２ 被爆者の健康管理に関する調査研究事業（公益事業１）

（１）調査研究の継続実施

被爆者の糖代謝に関する研究、睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査等、令和７年度以前に実施したものを引き続き研究する。研究成果は原子爆弾後障害研究会、関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表する。

（２）文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文等を整理保管する。

（３）第６６回原子爆弾後障害研究会の開催

令和８年度は、長崎市において、「第６６回原子爆弾後障害研究会」が開催されるので、広島市側の窓口として研究会開催を支援する。

３ 被爆者の援護福祉事業（公益事業２）

（１）被爆者相談の実施

被爆者の相談に応じ、関係行政機関と連携して、各種援護措置の説明等を行う。

（２）援護措置の実施

「原爆被爆者援護規程」に基づいて本協議会独自で次の援護措置を行う。

- ① 生活困窮者に対する援護金支給
- ② 被爆身体障害者等に対する見舞金支給
- ③ 福祉用具貸与・購入費利用料補助
- ④ その他必要と認める経費の一部補助

４ 市民の健康診断・健康管理事業（公益事業１）

（１）高齢者医療確保法に基づく特定健康診査等の実施

① 特定健康診査等の実施

ア 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、祝日を除く第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日(※)にも実施する。

(※) 4月は第3日曜日のみ実施、8月は実施しない。

イ 広島市健康づくりセンターでの施設健診のほか、公民館・集会所等での集団健診を283回実施する。

② 特定保健指導の実施

特定健康診査等の健診結果に基づき、生活習慣病のリスクが高く、特定保健指導を受ける必要があると判定された者については、結果説明に続いて特定保健指導の受診を勧奨する。

【実施目標】

特定健康診査等(※) 12,820件

後期高齢者健康診査 6,400件

特定保健指導 520件

(※) 医療保険未加入者分及び被用者保険加入被扶養者分を含む。

(2) 健康増進法に基づくがん検診等の実施

① がん検診等の実施

ア 広島市健康づくりセンターでは、平日のほか、祝日を除く第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日(※)にも各種検診を実施する。(胃がん検診の内視鏡検査は平日のみ、乳がん・子宮頸がん検診は第3日曜日のみ実施。)

また、令和8年度から平日の乳がん検診(午後のみ)を午前も実施し、受診者の利便性向上を図る。

(※) 4月は第3日曜日のみ実施、8月は実施しない。

イ 広島市健康づくりセンターでの施設検診のほか、公民館・集会所等での集団検診を以下のとおり実施する。

肺がん・大腸がん検診	283回	肺がん検診(単独)	72回
------------	------	-----------	-----

胃がん検診	230回		
-------	------	--	--

乳がん検診	176回	子宮頸がん検診	171回
-------	------	---------	------

ウ 上記イのうち、受診機会の拡大のため、5大がん検診(※1)と特定健康診査等の同時実施を93回、休日の集団検診を20回(※2)、夜間の集団検診(※3)を5回実施する。

(※1) 胃がん・肺がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診

(※2) うち15会場は5大がん検診と特定健康診査等の同時実施

(※3) 肺がん・大腸がん・乳がん検診及び特定健康診査等

【実施目標】

胃がん検診(X線)	6,000件	胃がん検診(内視鏡)	3,000件
-----------	--------	------------	--------

肺がん検診	20,700件	乳がん検診	6,900件
-------	---------	-------	--------

子宮頸がん検診	5,400件	大腸がん検診	16,500件
---------	--------	--------	---------

骨粗鬆症検診	4,000件	肝炎ウイルス検査	2,360件
--------	--------	----------	--------

② 広報及び受診勧奨の実施

集団検診の日程等は、広島市及び本協議会のホームページで周知を図る。

また、がん検診未受診者に対して受診勧奨通知を発送して受診促進を図る。

(3) 感染症法に基づく結核健康診断の実施

【実施目標】

結核健康診断 14,300件

(65 才以上の肺がん検診との同時検査：14,280 件を含む。)

(4) 健康管理資料の保管

受診者の健診資料（心電図所見・がん症例報告等）を整理・保管する。

5 広島市健康づくりセンターの管理運営事業（公益事業3）

令和4年度から令和8年度までの5年間、広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの管理運営、健康科学館での健康教育事業及び子育て支援事業を行う。

(1) 健康教育事業

健康に関する最新情報を分かりやすく正確に提供するとともに、教育研修等を積極的に行い、日常における健康管理について正しい知識の普及を図る。

【年間入館者数目標】 52,800 人

- ① 健康科学展示施設の運営
 - ・ 企画展開催 年 3 回
 - ・ パネル展 年 12 回
- ② 健康ライブラリーの運営
 - ・ 図書及びビデオを利用した学習の場の提供
- ③ 健康に関する研修等の実施
 - ・ 主催による研修会・イベント 年 46 回
- ④ ボランティア（ヘルスサポーター）の養成・育成
 - ・ ボランティア養成講座（6 課程） 年 1 回
 - ・ ボランティア育成講座 年 2 回
 - ・ ボランティアの活動 年 430 回
- ⑤ 健康に関する情報の収集・提供
 - ・ 広報誌「健康科学館ニュース」の発行（年 7 回）
 - ・ インターネットによる健康情報の提供を行う。

(2) 子育て支援事業

① ファミリー・サポート・センター事業

会員同士の子育てに関する相互援助活動により、仕事と子育ての両立支援や地域における子育て支援機能の充実を図る。

- ・ 提供会員と依頼会員とのマッチングの実施
- ・ 提供会員希望者への講習会の実施 年 2 回

② つどいの広場事業

子育て家庭の保護者と子どもが気軽につどい、あそびと育児相談などを行う常設の場を提供し、子育ての負担感の軽減や地域の子育て支援の充実を図る。

【年間利用者数目標】 20,600 人

- ・ 子育てに関する講習会の実施 年 20 回

③ パパとママの育児教室の開催

夫婦が協力して子育てを行うため、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図る。

- ・ 開催回数 年 34 回

6 検査診療及び人間ドック健診等の事業（収益事業）

（１）検査診療等の事業

本協議会の健診等において、悪性疾患等が疑われた者に確定診断等のための詳細な検査（ＣＴ・ＭＲＩ・内視鏡・超音波検査等）を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等と連携して最善の方策を進める。

また、広島市医師会員からの依頼に基づき生体検査（ＣＴ・ＭＲＩ・超音波検査等）を行う。

（２）人間ドック健診等の事業

事業所・健康保険組合等からの委託を受け、人間ドック健診や事業所健診等を行うほか、全国健康保険協会管掌健康保険加入事業所を対象に生活習慣病予防健診を実施する。また、メンタル面での健診メニューとしてストレスチェックを実施する。

また、人間ドック健診研修施設としての機能を維持するために、人間ドック健診指導医の増員を目指す。

【実施目標】

人 間 ド ッ ク 健 診	1,930 件
生活習慣病予防健診	3,350 件
事 業 所 健 診	3,670 件
ストレスチェック	800 件

（３）その他の健診等の事業

① 軽度認知症等の早期発見に係る検査を実施する。

【実施目標】

もの忘れチェックテスト（早期認知機能低下の早期発見）	70 件
ロコモチェック（運動機能低下の早期発見）	15 件

② 各種予防接種の実施

広島市健康づくりセンターにおいて各種予防接種（インフルエンザワクチン等）を行う。

③ 各種オプション検査の実施

市民の健診・検査に対するニーズに応じて、本協議会独自で各種のオプション検査を実施する。

④ 他の医療機関からの依頼に基づき、胃内視鏡検査の二重読影を行う。

7 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

（１）放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

「放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）」の主要推進団体として、被曝者医療を学ぶために来日した外国の研修生の受入れ等の事業実施に協力する。

（２）来日被曝者の健康診断、医療相談等の実施

来日した被曝者の健康診断及び医療相談、被曝者手帳の取得に必要な手続きの相談など、在外被曝者への支援を行う。

V 令和8年度予算

収 支 予 算 書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合 計
	公益 1 健康診断・ 調査研究事業	公益 2 援護福祉事業	公益 3 健康教育・ 子育て支援事業	共 通	小 計	人間ドック 健診等事業		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	1	0	0	0	1	0	0	1
特定資産運用益	1,615	0	0	0	1,615	404	2,458	4,477
事業収益	800,097	0	110,503	0	910,600	371,403	0	1,282,003
受取寄付金	0	460	0	0	460	0	0	460
雑収益	0	0	0	0	0	386	0	386
経常収益計	801,713	460	110,503	0	912,676	372,193	2,458	1,287,327
(2) 経常費用								
事業費	874,384	7,735	119,679	0	1,001,798	372,175		1,373,973
管理費							4,959	4,959
経常費用計	874,384	7,735	119,679	0	1,001,798	372,175	4,959	1,378,932
当期経常増減額	△ 72,671	△ 7,275	△ 9,176	0	△ 89,122	18	△ 2,501	△ 91,605
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	32	0	0	0	32	8	0	40
経常外費用計	32	0	0	0	32	8	0	40
当期経常外増減額	△ 32	0	0	0	△ 32	△ 8	0	△ 40
他会計振替前 当期一般正味財産増減額	△ 72,703	△ 7,275	△ 9,176	0	△ 89,154	10	△ 2,501	△ 91,645
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前 当期一般正味財産増減額	△ 72,703	△ 7,275	△ 9,176	0	△ 89,154	10	△ 2,501	△ 91,645
法人税、住民税及び事業税					0	0	71	71
当期一般正味財産増減額	△ 72,703	△ 7,275	△ 9,176	0	△ 89,154	10	△ 2,572	△ 91,716
一般正味財産期首残高	650,236	△ 53,577	△ 70,762	0	525,897	193,558	△ 83,697	635,758
一般正味財産期末残高	577,533	△ 60,852	△ 79,938	0	436,743	193,568	△ 86,269	544,042
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200	0	0	0	200	0	0	200
指定正味財産期末残高	200	0	0	0	200	0	0	200
III 正味財産期末残高	577,733	△ 60,852	△ 79,938	0	436,943	193,568	△ 86,269	544,242

Ⅵ 令和7年度事業実績

1 健康診断事業

(1) 被爆者健康診断

原爆被爆者の健康管理のため、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく原爆被爆者の健康診断を行っている。検査項目は下表のとおりである。

健診種別及び検査項目（令和7年度）

種 別		検 査 項 目
一般検査		問診等・CRP検査・血液一般検査・尿検査・血圧測定 ※医師が必要と認める場合、肝機能検査、ヘモグロビンA1c検査
精密検査		血液生化学検査・心電図検査・各種画像検査・運動器の検査等
がん検診	胃がん検診	問診・胃部X線撮影 又は 胃内視鏡検査
	肺がん検診	問診・胸部X線撮影、喀痰細胞診検査
	乳がん検診	問診、マンモグラフィによる画像診断
	子宮がん検診	問診・視診、内診、細胞診（頸部）
	多発性骨髄腫検診	問診・血液検査（血清蛋白分画検査）
	大腸がん検診	問診・便潜血二日法
骨粗鬆症検診		問診・骨塩定量検査（DEXA法）

一般検査は、毎年、前期・後期の2回行う定期健康診断のほかに、年2回を限度として申請による健康診断が受診できる。一般検査の結果、必要があると認められた場合に、精密検査を実施する。また、申請による健康診断のうち1回をがん検診として受診できる。

ア 被爆者一般・精密検査の実施

被爆者一般検査・精密検査は、広島市健康づくりセンターでの施設健診のほか、市内の公民館、集会所での出張健診を実施している。

広島市健康づくりセンターでは、毎月第2・第4土曜日及び第1・第3日曜日の休日にも健診を実施（4月及び8月の土曜日及び日曜日は4月の第3日曜日を除き実施しない。）しており、出張健診は年間10回の日曜健診を実施している。被爆者一般・精密検査の年度別実施状況は表1のとおりである。

表1 一般・精密検査の年度別実施状況

(単位: 人, %)

年 度 * 手帳更新	一般検査		精密検査 受診件数(B)	精検受診率 (B)/(A)(%)	一般及び精密検査 延べ受診件数
	受診件数(A)	要精検者数			
昭和 36	20,949	—	3,818	18.2	24,767
37	57,090	—	10,730	18.8	67,820
* 38	60,005	—	10,818	18.0	70,823
39	70,672	—	14,691	20.8	85,363
40	70,634	—	14,135	20.0	84,769
* 41	75,751	—	13,648	18.0	89,399
42	78,372	23,087	15,453	19.7	93,825
43	84,459	26,056	14,595	17.3	99,054
* 44	94,427	27,894	15,352	16.3	109,779
45	89,890	36,988	26,761	29.8	116,651
46	93,001	40,868	31,771	34.2	124,772
* 47	111,119	51,433	42,300	38.1	153,419
48	101,612	48,393	38,024	37.4	139,636
49	112,068	50,713	42,871	38.3	154,939
* 50	113,852	52,996	45,437	39.9	159,289
51	109,040	51,559	44,652	41.0	153,692
52	107,000	53,453	49,959	46.7	156,959
* 53	109,531	54,948	50,785	46.4	160,316
54	104,928	61,201	58,273	55.5	163,201
55	100,788	56,415	53,404	53.0	154,192
* 56	100,289	57,168	54,360	54.2	154,649
57	94,857	57,692	55,137	58.1	149,994
58	91,003	60,524	58,999	64.8	150,002
* 59	90,495	65,715	64,863	71.7	155,358
60	91,336	68,221	67,177	73.5	158,513
61	87,533	67,361	66,511	76.0	154,044
* 62	87,372	67,439	66,659	76.3	154,031
63	82,107	63,024	62,883	76.6	144,990
平成元	76,987	59,818	60,461	78.5	137,448
* 2	73,429	58,652	59,539	81.1	132,968
3	68,285	55,675	57,705	84.5	125,990
4	63,771	53,925	55,561	87.1	119,332
* 5	60,666	56,596	58,567	96.5	119,233
6	55,979	54,270	56,860*	101.6*	112,839
7	54,275	53,702	56,145*	103.4*	110,420
* 8	52,715	52,541	54,967*	104.3*	107,142
9	49,876	49,797	51,917*	104.1*	101,793
10	47,229	47,210	49,467*	104.7*	96,696
* 11	45,168	45,156	47,154*	104.4*	92,322
12	43,121	43,114	45,019*	104.4*	88,140
13	40,614	40,607	42,191*	103.9*	82,805
14	39,269	39,268	41,440*	105.6*	80,709
15	38,432	38,432	40,607*	105.7*	79,039
16	35,588	35,584	37,198*	104.5*	72,786
17	33,997	33,995	35,996*	105.9*	69,993
18	33,086	33,084	34,603*	104.6*	67,689
19	30,639	30,637	32,659*	106.6*	63,298
20	29,043	29,040	30,319*	104.4*	59,363
21	27,417	27,412	28,924*	105.5*	56,341
22	25,619	25,616	27,428*	107.1*	53,047
23	23,952	23,947	25,508*	106.5*	49,460
24	22,339	22,339	23,510*	105.2*	45,849
25	21,056	21,056	22,176*	105.3*	43,232
26	18,760	18,758	19,544*	104.2*	38,304
27	17,698	17,695	18,759*	106.0*	36,457
28	16,020	16,020	16,546*	103.3*	32,566
29	15,209	15,209	15,418*	101.4*	30,627
30	14,599	14,599	14,628*	100.2*	29,227
令和元	13,011	13,011	13,032*	100.2*	26,043
◎ 2	10,140	10,140	10,155*	100.1*	20,295
◎ 3	8,663	8,663	8,662	99.9	17,325

年 度 *手帳更新	一般検査		精密検査 受診件数(B)	精検受診率 (B)/(A) (%)	一般及び精密検査 延べ受診件数
	受診件数(A)	要精検者数			
令和 4	9,460	9,460	9,459	99.9	18,919
5	9,330	9,330	9,327	99.9	18,657
6	8,631	8,631	8,631	100.0	17,262
7	8,029	8,029	8,027	99.9	16,056

※ 精密検査受診者数が一般検査受診者数より多いのは、一般検査を他の医療機関で受診し、精密検査のみ本協議会で実施した人数を含んでいるためである。

◎ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、受診者数が減少している。

イ 令和7年度被爆者一般・精密検査実施状況

令和7年度の一般検査の受診者数は8,029人、精密検査の受診者は8,027人であった。詳細は以下のとおりである。

(7) 一般検査

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間の当施設及び延304回の出張健診会場での一般検査受診者延数は表2 a・bに示すとおり、男性3,818人、女性4,211人、計8,029人で、前年度との比較では602人の減少（男性191人減少、女性411人減少）である。年齢構成は、男性、女性ともに80歳代がピークとなっている。平均年齢±標準偏差は男性84.0±4.2歳、女性85.0±4.7歳、全体では84.1±4.5歳である。健診会場別に受診者を見ると、施設は2,500人(31.1%)、出張健診会場は5,529人(68.9%)であり、前年度に比し、施設健診は335人の減少、出張健診は267人の減少である。

出張健診の区別の受診状況は表2 cに示すとおり、受診率は安芸区が13.8%と最も高く、次いで安佐北区11.6%、佐伯区10.4%であり、全体では8.9%である。

表2 被爆者 一般検査

a 受診者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		(%)		(%)		(%)
～79	317	8.3	295	7.0	612	7.6
80～89	3,111	81.5	3,372	80.1	6,483	80.7
90～	390	10.2	544	12.9	934	11.6
計	3,818	100.0	4,211	100.0	8,029	100.0

b 健診会場別実施状況

(単位：日、人)

区 分	令和7年度(A)		令和6年度(B)		比較増減(A)－(B)	
	日数	受診者数	日数	受診者数	日数	受診者数
施設健診	281	2,500	281	2,835	0	△ 335
出張健診	304	5,529	319	5,796	△ 15	△ 267
計	585	8,029	600	8,631	△ 15	△ 602

c 出張健診区別実施状況

(単位：日，人，%)

区 分	令和7年度(A)				令和6年度(B)				比較増減(A)－(B)		
	日数	対象者数	受診者数	受診率	日数	対象者数*	受診者数	受診率	日数	対象者数	受診者数
中 区	20	4,999	319	6.4	22	5,720	279	4.9	△ 2	△ 721	40
東 区	38	6,203	461	7.4	42	6,651	495	7.4	△ 4	△ 448	△ 34
南 区	38	7,775	512	6.6	40	8,391	572	6.8	△ 2	△ 616	△ 60
西 区	49	10,478	661	6.3	50	11,412	713	6.2	△ 1	△ 934	△ 52
安 佐 南 区	46	12,384	1,268	10.2	51	13,061	1,306	10.0	△ 5	△ 677	△ 38
安 佐 北 区	51	9,547	1,106	11.6	50	9,779	1,166	11.9	1	△ 232	△ 60
安 芸 区	18	2,777	383	13.8	19	2,970	394	13.3	△ 1	△ 193	△ 11
佐 伯 区	44	7,883	819	10.4	45	8,383	871	10.4	△ 1	△ 500	△ 52
計	304	62,046	5,529	8.9	319	66,367	5,796	8.7	△ 15	△ 4,321	△ 267

(対象者数は、年間の延べ被爆者健診通知数)

d 要精検率

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			(%)			(%)			(%)
～79	317	317	100.00	295	295	100.00	612	612	100.00
80～89	3,111	3,111	100.00	3,372	3,372	100.00	6,483	6,483	100.00
90～	390	390	100.00	544	544	100.00	934	934	100.00
計	3,818	3,818	100.00	4,211	4,211	100.00	8,029	8,029	100.00

(4) 精密検査

令和7年度の精密検査受診者延数は表3 aに示すとおり、男性3,817人、女性4,210人、計8,027人であり、前年度に比し男性は192人の減少、女性は412人の減少、全体では604人減少している。

精密検査受診者に対して実施した主な検査項目は表3 cに示すとおり、白血球分類、肝機能検査、血糖検査が同件数で多く、次に、心電図、TSH(CLEIA)、Free T4、PSAの順である。

健診(検診)や精密検査の結果、何らかの疾病を有し、これに対して治療の必要な者を要治療者とし、経過観察、追加検査及び食生活指導の必要な者を要経過観察者として、これらの精密検査受診者に対する比率をみたのが表3 d・eである。要治療者については、男性では高血圧、脂質異常症、糖尿病の順に多くみられ、女性では高血圧、脂質異常症、骨粗鬆症の順である。要経過観察者についてみると、男性では高血糖、動脈硬化症、脂質異常症の順に多くみられ、女性では高血糖、脂質異常症、動脈硬化症の順である。

表3 被爆者 精密検査

a 受診者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		(%)		(%)		(%)
～79	317	8.3	295	7.0	612	7.6
80～89	3,110	81.5	3,371	80.1	6,481	80.7
90～	390	10.2	544	12.9	934	11.6
計	3,817	100.0	4,210	100.0	8,027	100.0

b 要精検者に対する精密検査受診率

(単位：人，%)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	要精検者数	精検受診者数	受診率	要精検者数	精検受診者数	受診率	要精検者数	精検受診者数	受診率
～79	317	317	100.0	295	295	100.0	612	612	100.0
80～89	3,111	3,110	99.9	3,372	3,371	99.9	6,483	6,481	99.9
90～	390	390	100.0	544	544	100.0	934	934	100.0
計	3,818	3,817	99.9	4,211	4,210	99.9	8,029	8,027	99.9

c 精密検査における主な検査項目と実施件数

(単位：件)

検査項目	実施件数	検査項目	実施件数
白 血 球 分 類	8,027	腹 部 超 音 波 検 査	131
肝 機 能 検 査	8,027	甲 状 腺 超 音 波 検 査	83
血 糖 検 査	8,027	M R I	100
心 電 図	6,464	眼 底 検 査	41
T S H (C L E I A)	3,042	心 臓 超 音 波 検 査	48
F r e e T 4	3,035	F r e e T 3	17
高 感 度 P S A	2,811	胃 内 視 鏡 検 査	450
C A V I	1,712	大 腸 内 視 鏡 検 査	13
頸 動 脈 超 音 波 検 査	1,353	抗 T P O 抗 体	288
胸 部 X 線 検 査	1,446		
C T	155		

d 要治療者の疾病分類

(単位：件)

疾病区分	病 名	男 性		女 性		計	
		例数	(%)	例数	(%)	例数	(%)
感 染 症	そ の 他	2	0.02	5	0.06	7	0.04
悪 性 新 生 物 (治療中・経過観察を含む)	胃 癌	100	7.16	29	2.18	129	4.62
	肺 癌	48		23		71	
	多 発 性 骨 髄 腫	43		14		57	
	結 腸 ・ 直 腸 癌	46		18		64	
	乳 癌	0		47		47	
	前 立 腺 癌	242		0		242	
	膀 胱 癌	52		6		58	
	甲 状 腺 癌	20		33		53	
	食 道 癌	16		3		19	
	そ の 他	60		25		85	
良 性 新 生 物	そ の 他	2	0.02	0	0.00	2	0.01
内 分 泌 ・ 代 謝 疾	糖 尿 病	937	33.19	623	35.13	1,560	34.18
	甲 状 腺 腫	1		0		1	
	甲 状 腺 機 能 低 下 症	154		450		604	
	甲 状 腺 機 能 亢 進 症	5		36		41	
	脂 質 異 常 症	1,277		2,003		3,280	
	高 尿 酸 血 症	529		78		607	
	そ の 他	2		3		5	
血 液 疾 患	貧 血	112	1.31	159	1.77	271	1.55
	そ の 他	3		2		5	
精 神 障 害 ・ 神 経 感 覚 器 疾 患	パ ー キ ン ソ ン	22	0.26	29	0.34	51	0.30
	そ の 他	1		2		3	
循 環 器 疾 患	高 血 圧	2,279	41.02	2,423	36.85	4,702	38.89
	高 血 圧 性 心 疾 患	0		0		0	
	虚 血 性 心 疾 患	463		288		751	
	そ の 他 の 心 疾 患	451		337		788	
	脳 血 管 障 害	347		272		619	
	動 脈 硬 化 症	41		22		63	
	その他の循環器疾患	9		7		16	
呼 吸 器 疾 患	肺 炎	0	2.33	0	2.05	0	2.19
	慢 性 気 管 支 炎	0		0		0	
	喘 息	93		155		248	
	肺 気 腫	60		12		72	
	肺 線 維 症	16		8		24	
	そ の 他	35		11		46	
消 化 器 疾 患	胃 潰 瘍	2	3.05	4	4.14	6	3.60
	十 二 指 腸 潰 瘍	0		0		0	
	肝 機 能 障 害	71		74		145	
	食 道 の 疾 患	168		269		437	
	そ の 他	26		29		55	
泌 尿 ・ 生 殖 器 疾	腎 炎	15	9.20	5	0.47	20	4.75
	腎 不 全	83		30		113	
	前 立 腺 肥 大 症	705		0		705	
	尿 路 感 染 症	0		0		0	
	そ の 他	2		8		10	
皮 膚 ・ 筋 骨 格 系 疾	リウマチ様関節炎	60	2.41	120	17.01	180	9.85
	骨 粗 鬆 症	151		1,426		1,577	
	そ の 他	0		0		0	
そ の 他	そ の 他	1	0.01	1	0.01	2	0.01
総被検者数		8,752		9,089		17,841	

e 要経過観察者の疾病分類

(単位：件)

疾病区分	病 名	男 性		女 性		計	
		例数	(%)	例数	(%)	例数	(%)
感 染 症	陳 旧 性 肺 結 核	0		0		0	
	そ の 他	0	0.00	0	0.00	0	0.00
新 生 物	多 発 性 骨 髄 腫	0		0		0	
	その他の悪性新生物	1	0.07	0	0.05	1	0.06
	その他の良性新生物	2		2		4	
内 分 泌 ・ 代 謝 疾	高 血 糖	975		765		1,740	
	甲 状 腺 腫	6		21		27	
	その他の内分泌疾患	0	39.39	0	40.76	0	40.04
	脂 質 異 常 症	550		705		1,255	
	その他の代謝疾患	85		50		135	
血 液 疾 患	貧 血	127		187		314	
	そ の 他	0	3.10	0	4.95	0	3.98
精 神 障 害 ・ 神経感覚器疾患	精 神 障 害	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	神 経 感 覚 器 疾 患						
循 環 器 疾 患	高 血 圧	98		123		221	
	高血圧性心疾患	0		0		0	
	虚血性心疾患	0		0		0	
	その他の心疾患	0	19.28	0	18.62	0	18.96
	脳 血 管 障 害	3		1		4	
	動 脈 硬 化 症	689		580		1,269	
	その他の循環器疾患	1		0		1	
呼 吸 器 疾 患	喘 息	0		0		0	
	肺 気 腫	0		0		0	
	肺 線 維 症	0	0.02	0	0.00	0	0.01
	そ の 他	1		0		1	
消 化 器 疾 患	胃 炎	2		1		3	
	胃 ポ リ プ	1		0		1	
	肝 機 能 障 害	362	9.24	175	4.92	537	7.17
	そ の 他	14		10		24	
泌 尿 ・ 生 殖 器 疾	腎 炎	361		77		438	
	血 尿	187		515		702	
	蛋 白 尿	281	28.91	223	30.47	504	29.65
	尿 糖	110		54		164	
	そ の 他	247		283		530	
皮 膚 ・ 筋 骨 格 系 疾	皮 膚 疾 患	0		0		0	
	リウマチ様関節炎	0		0		0	
	骨 粗 鬆 症	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	その他の骨関節疾患	0		0		0	
	そ の 他	0		0		0	
そ の 他	そ の 他	0	0.00	9	0.24	9	0.11
総被検者数		4,103		3,781		7,884	

ウ 被爆者がん検診等の実施

被爆者がん検診（胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫）は、被爆者の高齢化に伴う健康不安の増大等に対し、健康不安を解消するとともに健康管理の充実を図るため、昭和63年度から原子爆弾被爆者の医療等に関する法律（平成7年、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に移行）に基づく被爆者健康診断の一環として導入されたものである。これは希望による健康診断2回のうち1回をがん検診として受診できることになっている。

平成2年度から、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を安佐南区、安佐北区及び安芸区を除く出張健診会場で実施し、平成4年度から安芸区、平成5年度から安佐南区、安佐北区の出張健診会場においても実施している。

平成4年度から大腸がん検診を実施し、平成7年度から広島市の施策として骨粗鬆症検診を施設において実施している。

平成18年度から、乳がん検診に乳房X線検査（マンモグラフィ）が必須項目となった。

平成28年7月から、胃がん検診は胃部X線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。

平成30年度から、乳がん検診の視触診を廃止。

被爆者がん検診等の推移は表4、被爆者がん検診等の年度別実施状況は表5に示すとおりである。

表4 被爆者がん検診等の推移

検診会場 検診	施設検診	出張検診		
		中区・東区・南区 区・西区・佐伯区	安芸区	安佐南区 安佐北区
胃がん検診	昭和63年8月～	平成2年4月～	平成4年4月～	平成5年4月～
肺がん検診				
乳がん検診				
子宮がん検診				
多発性骨髄腫検診		昭和63年8月～		
大腸がん検診	平成4年10月～	平成4年10月～		
骨粗鬆症検診	平成7年4月～			

表 5 被爆者ががん検診等年度別実施状況

(単位：件)

年 度	胃がん検診※	肺がん検診	乳がん検診	子宮がん 検 診	多発性骨髄 腫 検 診	大腸がん 検 診	骨粗鬆症 検 診
昭和 54	2,165						
55	4,388						
56	2,843						
57	4,979						
58	5,446						
59	5,079						
60	5,142						
61	5,024						
62	4,973	201	961	897	40,027		
63	5,255	6,442					
平成元	3,848	8,052					
2	6,415	10,579	2,468	2,277	40,060		
3	5,976	10,964	2,304	2,135	40,418	4,018	
4	6,702	12,107	2,736	2,466	41,521	19,535	
5	8,095	14,189	3,630	3,390	34,909	18,306	
6	7,754	15,999	3,343	3,130	37,600	16,812	
7	8,034	16,522	3,305	3,105	36,347	16,196	3,995
8	7,953	16,104	3,288	3,094	30,677	16,657	3,891
9	7,835	15,764	3,155	2,959	33,103	15,619	5,605
10	7,574	15,148	2,783	2,649	31,304	15,029	6,055
11	7,878	15,542	2,947	2,779	28,068	15,105	6,597
12	7,686	15,523	3,024	2,876	28,793	14,472	7,000
13	7,244	14,967	2,860	2,715	26,898	13,901	6,848
14	7,161	15,596	2,843	2,724	26,131	13,669	7,211
15	7,215	15,573	2,907	2,736	25,502	13,375	7,516
16	6,950	14,650	2,864	2,548	23,823	12,453	7,193
17	6,809	14,135	2,590	2,405	22,804	12,288	6,580
18	6,416	13,720	3,073	2,499	22,401	11,570	6,480
19	5,967	12,972	3,026	2,499	20,416	11,257	6,049
20	5,445	12,588	2,997	2,427	19,555	10,988	5,932
21	4,971	12,503	3,096	2,498	18,581	10,503	5,888
22	4,514	11,708	2,686	2,260	17,352	9,639	5,623
23	4,133	11,159	2,536	2,040	16,376	9,766	5,306
24	3,891	10,438	2,527	2,032	15,311	9,331	5,132
25	3,392	11,311	2,300	1,870	14,468	8,570	4,984
26	2,881	10,278	2,098	1,696	13,120	7,577	4,530
27	2,317	9,681	1,993	1,567	12,401	7,025	4,543
28	2,268(445)	8,730	1,779	1,360	11,253	6,345	3,855
29	1,980(487)	8,345	1,643	1,276	10,538	6,016	3,553
30	1,937(622)	8,056	1,520	1,154	9,991	5,595	3,513
令和元	1,539(561)	7,194	1,451	1,043	8,918	5,130	3,081
◎ 2	1,069(470)	5,850	1,063	769	7,356	3,833	2,562
◎ 3	902(471)	5,189	943	654	6,466	3,451	2,364
4	936(480)	5,454	993	672	6,751	3,583	2,335
5	847(489)	5,465	999	668	6,632	3,630	2,277
6	729(491)	5,067	905	609	6,144	3,436	1,970
7	586(438)	4,589	786	497	5,582	3,211	1,666

※ 胃がん検診は、平成 28 年 7 月から、胃部 X 線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。

()内は胃内視鏡検査の受診者数(内数)

◎ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、受診者数が減少している。

昭和 62 年度までの胃がん検診、肺がん検診と平成 3 年度の大腸がん検診は、広島市独自の法外援護事業として委託を受けて実施したものであり、昭和 63 年度以降（大腸がん検診は平成 4 年度以降）は国の制度として、広島県・広島市及び島根県、大阪府、東京都、山口県の委託を受けて実施したものである。

エ 令和6年度被爆者がん検診等実施状況(令和8年5月末までの追跡調査の結果)

令和6年度の時点で被爆者対象年齢は77歳以上である。

(7) 胃がん検診

胃がん検診の胃部X線検査における受診者数は表6 aに示すとおり、男性166人、女性72人、計238人である。要精検率は男性6.6%、女性5.6%、計6.3%。精検受診率は、それぞれ90.9%、100.0%、93.3%である。要精検率は女性に比し男性がやや高率である。

精検結果は表6 bに示すとおりである。胃部X線検査では、有所見率は、男性、女性ともに100.0%である。主な所見の内訳は、胃ポリープ、胃潰瘍が同率14.29%、胃癌7.14%である。

胃がん検診の胃内視鏡検査における受診者数は表6 aに示すとおり、男性315人、女性176人、計491人である。

精検結果は表6 bに示すとおり、主な内訳は、胃癌13.51%、その他のがん(食道がん)、胃腺腫が同率2.70%である。

令和6年度新たに発見された胃癌症例は、表6 cに示すとおりである。

胃部X線検査では、胃癌症例は男性1例、女性0例、計1例である。胃癌発見率は男性0.60%、女性0.00%、計0.42%、陽性反応的中度はそれぞれ9.09%、0.00%、6.67%である。

胃内視鏡検査では、胃癌症例は男性5例、女性0例、計5例である。胃癌発見率は男性1.59%、女性0.00%、計1.02%である。

表6 被爆者 胃がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

胃部X線検査

(単位:人)

男 性					女 性					計				
受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
	(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²	
166	11	6.6	10	90.9	72	4	5.6	4	100.0	238	15	6.3	14	93.3

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率:精検受診者数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

男 性					女 性					計				
受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
	(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²	
315	25	7.9	25	100.0	176	12	6.8	12	100.0	491	37	7.5	37	100.0

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率:精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

胃部X線検査

(単位:人)

性	精 検 所 見														有所見例数	
	胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常	
	(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹	
男性	1	10.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	20.00	1	10.00	6	60.00	0	0.00
女性	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	25.00	3	75.00	0	0.00
計	1	7.14	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	14.29	2	14.29	9	64.29	0	0.00

¹ 有所見率:有所見例数/精検受診者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	受診者数	要精検査数		精検受診者数		精 検 所 見							
						胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫	
			(%) ¹		(%) ²		(%) ³		(%) ³		(%) ³		(%) ³
男性	315	25	7.94	25	100.00	5	20.00	0	0.00	1	4.00	1	4.00
女性	176	12	6.82	12	100.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
計	491	37	7.54	37	100.00	5	13.51	0	0.00	1	2.70	1	2.70

¹ 要精検率:「生検あり」と「再検査」該当数/受診者数×100 ² 精検受診率:要精検のうち精検受診者数/「生検あり」と「再検査」該当数×100

³ 有所見率: 所見例数/精検受診者数×100

c 被爆状況別に見た胃癌発見率

胃部×線検査

(単位:人)

性	被 曝 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃癌症 例			
							発見率(%) ³		陽性反応の中度(%) ⁴	
				(%) ¹		(%) ²				
男性	2.0km以内直接被爆群	24	2	8.3	2	100.0	1	4.17	50.00	
	2.1km以上直接被爆群	45	1	2.2	1	100.0	0	0.00	0.00	
	入 市・他 群	97	8	8.2	7	87.5	0	0.00	0.00	
	計	166	11	6.6	10	90.9	1	0.60	9.09	
女性	2.0km以内直接被爆群	12	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0.00	
	2.1km以上直接被爆群	14	1	7.1	1	100.0	0	0.00	0.00	
	入 市・他 群	46	3	6.5	3	100.0	0	0.00	0.00	
	計	72	4	5.6	4	100.0	0	0.00	0.00	
計	2.0km以内直接被爆群	36	2	5.6	2	100.0	1	2.78	50.00	
	2.1km以上直接被爆群	59	2	3.4	2	100.0	0	0.00	0.00	
	入 市・他 群	143	11	7.7	10	90.9	0	0.00	0.00	
	計	238	15	6.3	14	93.3	1	0.42	6.67	

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率:がん症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応の中度:がん症例数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	被 曝 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃癌症 例			
							発見率(%) ³		陽性反応の中度(%) ⁴	
				(%) ¹		(%) ²				
男性	2.0km以内直接被爆群	50	6	12.0	6	100.0	2	4.00	33.33	
	2.1km以上直接被爆群	107	6	5.6	6	100.0	0	0.00	0.00	
	入 市・他 群	158	13	8.2	13	100.0	3	1.90	23.08	
	計	315	25	7.9	25	100.0	5	1.59	20.00	
女性	2.0km以内直接被爆群	34	1	2.9	1	100.0	0	0.00	0.00	
	2.1km以上直接被爆群	50	3	6.0	3	100.0	0	0.00	0.00	
	入 市・他 群	92	8	8.7	8	100.0	0	0.00	0.00	
	計	176	12	6.8	12	100.0	0	0.00	0.00	
計	2.0km以内直接被爆群	84	7	8.3	7	100.0	2	2.38	28.57	
	2.1km以上直接被爆群	157	9	5.7	9	100.0	0	0.00	0.00	
	入 市・他 群	250	21	8.4	21	100.0	3	1.20	14.29	
	計	491	37	7.5	37	100.0	5	1.02	13.51	

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率:がん症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応の中度:がん症例数/要精検者数×100

(イ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表 7 a に示すとおり、男性 2,382 人、女性 2,685 人、計 5,067 人である。要精検率は男性 3.1%、女性 2.8%、計 3.0%、精検受診率はそれぞれ 89.3%、88.0%、88.7%である。

精検結果は表 7 b に示すとおり、有所見率は男性 85.07%、女性 83.33%、計 84.21%で男性

が女性に比し高率である。主な所見の内訳は、肺癌 6.77%、肺炎 5.26%、肺気腫 4.51%、肺線維症、非結核性抗酸菌症が同率 1.50%である。

令和 6 年度新たに発見された肺癌症例は表 7 c に示すとおり、男性 7 例、女性 2 例、計 9 例である。肺癌発見率は男性 0.29%、女性 0.07%、計 0.18%であり、陽性反応的中度はそれぞれ 9.33%、2.67%、6.00%である。

表 7 被爆者 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

男 性					女 性					計			
受診者数	要精検者数	精検受診者数	要精検者数	精検受診者数	受診者数	要精検者数	精検受診者数	要精検者数	精検受診者数	受診者数	要精検者数	精検受診者数	要精検者数
	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹		(%) ¹	(%) ²		(%) ¹		(%) ¹	(%) ²	
2,382	75	3.1	67	89.3	2,685	75	2.8	66	88.0	5,067	150	3.0	133
													88.7

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率:精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

精 検 所 見																	有所見例数	
性	肺癌		縦隔腫瘍		非結核性抗酸菌症		肺 炎		肺気腫		肺線維症		その他		正常			
		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		
男性	7	10.45	0	0.00	1	1.49	5	7.46	6	8.96	0	0.00	38	56.72	10	14.93	57	85.07
女性	2	3.03	0	0.00	1	1.52	2	3.03	0	0.00	2	3.03	48	72.73	11	16.67	55	83.33
計	9	6.77	0	0.00	2	1.50	7	5.26	6	4.51	2	1.50	86	64.66	21	15.79	112	84.21

¹ 有所見率:有所見例数/精検受診者数×100

c 被爆状況別に見た肺癌発見率

(単位:人)

性	被 爆 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		肺 癌 症 例			
			(%) ¹		(%) ²		発見率(%) ³		陽性反応的中度(%) ⁴	
男性	2.0km以内直接被爆群	360	11	3.1	10	90.9	1	0.28	9.09	
	2.1km以上直接被爆群	696	23	3.3	22	95.7	2	0.29	8.70	
	入 市・他 群	1,326	41	3.1	35	85.4	4	0.30	9.76	
	計	2,382	75	3.1	67	89.3	7	0.29	9.33	
女性	2.0km以内直接被爆群	436	15	3.4	13	86.7	0	0.00	0.00	
	2.1km以上直接被爆群	757	20	2.6	18	90.0	1	0.13	5.00	
	入 市・他 群	1,492	40	2.7	35	87.5	1	0.07	2.50	
	計	2,685	75	2.8	66	88.0	2	0.07	2.67	
計	2.0km以内直接被爆群	796	26	3.3	23	88.5	1	0.13	3.85	
	2.1km以上直接被爆群	1,453	43	3.0	40	93.0	3	0.21	6.98	
	入 市・他 群	2,818	81	2.9	70	86.4	5	0.18	6.17	
	計	5,067	150	3.0	133	88.7	9	0.18	6.00	

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率:精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率:症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度:癌症例数/要精検者数×100

(ウ) 乳がん検診

乳がん検診の受診者数は表 8 a に示すとおり、905 人である。要精検率は 1.7%、精検受診率は 93.3%である。

精検結果は表 8 b に示すとおり、有所見率は 71.43%である。主な所見の内訳は、良性疾患 57.14%、早期乳癌、進行期乳癌が同率 7.14%である。

令和 6 年度新たに発見された乳癌症例は表 8 c に示すとおり、2 例である。乳癌発見率は 0.22%であり、陽性反応的中度は 13.33%である。

表8 被爆者 乳がん

a 受診者数, 要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹		(%) ²
905	15	1.7	14	93.3

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

精 検 所 見															有所見例数		
悪性腫瘍								良性疾患						異常なし			
乳癌								その他	良性腫瘍		その他の良性疾患						
早期				進行期		病期不明			1	7.14	7	50.00					
(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹										
2	14.29	1	7.14	1	7.14	0	0.00	0	0.00	1	7.14	7	50.00	4	28.57	10	71.43

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数×100

c 被爆状況別に見た乳癌発見率

(単位:人)

被 爆 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		乳 癌 症 例		
			(%) ¹		(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応的中度(%) ⁴	
2.0km以内直接被爆群	149	4	2.7	4	100.0	1	0.67	25.00
2.1km以上直接被爆群	235	2	0.9	2	100.0	0	0.00	0.00
入 市・他 群	521	9	1.7	8	88.9	1	0.19	11.11
計	905	15	1.7	14	93.3	2	0.22	13.33

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100³ 発見率: 症例数/受診者数×100⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(I) 子宮がん検診

子宮頸がん検診の受診者数は表9 aに示すとおり、609人である。要精検率0.5%、精検受診率は66.7%である。

精検結果は表9 bに示すとおり、有所見率は50.00%で、その他(子宮脱)1人のみである。

令和6年度新たに子宮頸がんは発見されなかった。

表9 被爆者 子宮がん

a 受診者数, 要精検者数 (単位:人)

受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹		(%) ²
609	3	0.5	2	66.7

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

精 検 所 見															有所見例数
子宮頸癌		その他の悪性疾患		AIS		CIN3		CIN2		HSIL		CIN1		その他	
(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹
0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	50.00
														1	50.00

c 被爆状況別に見た子宮頸癌発見率

(単位:人)

被 曝 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		子 宮 頸 癌 症 例		
			(%) ¹		(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応の中度(%) ⁴	
2.0km以内直接被爆群	99	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0.00
2.1km以上直接被爆群	143	0	0.0	0	0.0	0	0.00	0.00
入 市 ・ 他 群	367	3	0.8	2	66.7	0	0.00	0.00
計	609	3	0.5	2	66.7	0	0.00	0.00

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数 × 100

(オ) 多発性骨髄腫検診

多発性骨髄腫検診の受診者数は表 10 a に示すとおり、男性 2,774 人、女性 3,314 人、計 6,088 人である。要精検率は男性 4.5%、女性 2.3%、計 3.3%、精検受診率はそれぞれ 12.0%、29.3%、18.5%である。

精検結果は表 10 b に示すとおり、有所見率は男性 93.33%、女性 68.18%、計 78.38%である。主な所見の内訳は、MGUS64.86%、骨髄腫 5.41%である。

表 10 c に示すとおり、令和 6 年度新たに発見された新規骨髄腫症例は男性 2 例、女性 0 例、計 2 例である。新規骨髄腫発見率は男性 0.07%、女性 0.00%、計 0.03%であり、陽性反応の中度はそれぞれ 1.60%、0.00%、1.00%である。

表 10 被爆者 多発性骨髄腫検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

男 性					女 性					計				
受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²
2,774	125	4.5	15	12.0	3,314	75	2.3	22	29.3	6,088	200	3.3	37	18.5

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100 フォロー中を除く

b 精検結果

(単位:人)

性	精 検 所 見												有所見例数	
	骨髓腫		MGUS		マクログロブリン血症		良性M蛋白血症		その他		M蛋白(-)			
		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹	(異常なし)	(%) ¹		(%)
男性	2	13.33	12	80.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	6.67	14	93.33
女性	0	0.00	12	54.55	0	0.00	0	0.00	3	13.64	7	31.82	15	68.18
計	2	5.41	24	64.86	0	0.00	0	0.00	3	8.11	8	21.62	29	78.38

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数 × 100

c 被爆状況別に見た多発性骨髄腫発見率

(単位:人)

性	被 爆 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		新規骨髄腫症例 ¹		
				(%) ²		(%) ³		発見率(%) ⁴	陽性反応の中度(%) ⁵
男性	2.0km以内直接被爆群	427	21	4.9	3	14.3	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	826	42	5.1	6	14.3	1	0.12	2.38
	入 市・他 群	1,521	62	4.1	6	9.7	1	0.07	1.61
	計	2,774	125	4.5	15	12.0	2	0.07	1.60
女性	2.0km以内直接被爆群	561	19	3.4	3	15.8	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	979	16	1.6	5	31.3	0	0.00	0.00
	入 市・他 群	1,774	40	2.3	14	35.0	0	0.00	0.00
	計	3,314	75	2.3	22	29.3	0	0.00	0.00
計	2.0km以内直接被爆群	988	40	4.0	6	15.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	1,805	58	3.2	11	19.0	1	0.06	1.72
	入 市・他 群	3,295	102	3.1	20	19.6	1	0.03	0.98
	計	6,088	200	3.3	37	18.5	2	0.03	1.00

¹ 今年度新たに発見された癌症例数

² 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

³ 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

⁴ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁵ 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数 × 100

(カ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数は表 11 a に示すとおり、男性 1,602 人、女性 1,834 人、計 3,436 人である。要精検率は男性 6.2%、女性 4.8%、計 5.4%、精検受診率はそれぞれ 64.6%、50.0%、57.8%である。

精検結果は表 11 b に示すとおり、有所見率は男性 90.63%、女性 72.73%、計 83.33%で男性が女性に比し高率である。主な所見の内訳は、腺腫 54.63%、大腸憩室 10.19%、非腫瘍性ポリープ 7.41%、大腸癌 3.70%である。

令和 6 年度新たに発見された大腸癌症例は表 11 c に示すとおり、男性 2 例、女性 2 例、計 4 例である。大腸癌発見率は男性 0.12%、女性 0.11%、計 0.12%であり、陽性反応の中度は 2.02%、2.27%、2.14%である。

表 11 被爆者 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

男 性					女 性					計				
受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²
1,602	99	6.2	64	64.6	1,834	88	4.8	44	50.0	3,436	187	5.4	108	57.8

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

性	精 検 所 見												有所見例数	
	大腸癌	腺腫	非腫瘍性ポリープ	潰瘍性大腸炎	大腸憩室	その他	正常							
	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹						(%) ¹	(%) ¹
男性	2	3.13	43	67.19	7	10.94	1	1.56	4	6.25	1	1.56	6	9.38
女性	2	4.55	16	36.36	1	2.27	0	0.00	7	15.91	6	13.64	12	27.27
計	4	3.70	59	54.63	8	7.41	1	0.93	11	10.19	7	6.48	18	16.67

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数 × 100

ｃ 被爆状況別に見た大腸癌発見率

(単位:人)

性	被 爆 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		大腸癌症例		
				(%) ¹		(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応の中度(%) ⁴	
男性	2.0km以内直接被爆群	236	15	6.4	9	60.0	0	0.00	0.00
	2.1km以上直接被爆群	465	25	5.4	17	68.0	0	0.00	0.00
	入 市 ・ 他 群	901	59	6.5	38	64.4	2	0.22	3.39
	計	1,602	99	6.2	64	64.6	2	0.12	2.02
女性	2.0km以内直接被爆群	307	23	7.5	9	39.1	1	0.33	4.35
	2.1km以上直接被爆群	536	25	4.7	14	56.0	0	0.00	0.00
	入 市 ・ 他 群	991	40	4.0	21	52.5	1	0.10	2.50
	計	1,834	88	4.8	44	50.0	2	0.11	2.27
計	2.0km以内直接被爆群	543	38	7.0	18	47.4	1	0.18	2.63
	2.1km以上直接被爆群	1,001	50	5.0	31	62.0	0	0.00	0.00
	入 市 ・ 他 群	1,892	99	5.2	59	59.6	3	0.16	3.03
	計	3,436	187	5.4	108	57.8	4	0.12	2.14

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 陽性反応の中度: 癌症例数/要精検者数 × 100

(キ) 被爆者ががん検診別に見たがん発見率

被爆者の5大がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)検診別に見た発見率を表12に示す。子宮がんは0.00%であったが、胃がん(胃部X線検査)は0.42%、胃がん(胃内視鏡検査)は1.22%、肺がんは0.18%、大腸がんは0.12%、乳がんは0.22%である。

表12 被爆者 がん検診別に見たがん発見率

(単位:人)

性	検査種	受診者数	要精検者数		精検受診者数		がん症例 ⁴	
				(%) ¹		(%) ²		発見率(%) ³
男性	胃がん(胃部X線検査)	166	11	6.6	10	90.9	1	0.60
	胃がん(内視鏡検査)	315	25	7.9	25	100.0	6	1.90
	肺がん	2,382	75	3.1	67	89.3	7	0.29
	大腸がん	1,602	99	6.2	64	64.6	2	0.12
女性	胃がん(胃部X線検査)	72	4	5.6	4	100.0	0	0.00
	胃がん(内視鏡検査)	176	12	6.8	12	100.0	0	0.00
	肺がん	2,685	75	2.8	66	88.0	2	0.07
	大腸がん	1,834	88	4.8	44	50.0	2	0.11
	乳がん	905	15	1.7	14	93.3	2	0.22
	子宮がん	609	3	0.5	2	66.7	0	0.00
計	胃がん(胃部X線検査)	238	15	6.3	14	93.3	1	0.42
	胃がん(内視鏡検査)	491	37	7.5	37	100.0	6	1.22
	肺がん	5,067	150	3.0	133	88.7	9	0.18
	大腸がん	3,436	187	5.4	108	57.8	4	0.12
	乳がん	905	15	1.7	14	93.3	2	0.22
	子宮がん	609	3	0.5	2	66.7	0	0.00

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

³ 発見率: 症例数/受診者数 × 100

⁴ 検査により発見された悪性腫瘍の数

(ク) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、高齢化に伴う寝たきり被爆者が増加している現状に鑑み、その要員のひとつである骨折を予防し、寝たきりを防止するために、広島市独自の施策として平成7年4月より実施されている。

令和6年度の受診者数は表13aに示すとおり、男性1,011人、女性959人、計1,970人である。

骨量の「減少あり」と判定された有所見率は男性 49.0%、女性 81.4%、計 64.8%である。
女性が男性に比して高率であった。被爆状況別にみた結果を表 13 b に示す。

表 13 被爆者 骨粗鬆症検診

a 受診者数および結果

(単位:人)

性	受診者数	測 定 結 果					
		減少なし	減少あり				計 (%) ¹
			軽 度	中 等 度	高 度		
男性	1,011	516	293	160	42	495	49.0
女性	959	178	339	294	148	781	81.4
計	1,970	694	632	454	190	1,276	64.8

¹ 有所見率: 有所見例数/受診者数 × 100

b 被爆状況別に見た骨密度測定結果

(単位:人)

性	被 爆 状 況	受診者数	測 定 結 果					
			減少なし	減少あり				計 (%) ¹
				軽 度	中 等 度	高 度		
男性	2.0km以内直接被爆群	188	89	51	38	10	99	52.7
	2.1km以上直接被爆群	340	183	98	48	11	157	46.2
	入 市 ・ 他 群	483	244	144	74	21	239	49.5
	計	1,011	516	293	160	42	495	49.0
女性	2.0km以内直接被爆群	185	40	63	57	25	145	78.4
	2.1km以上直接被爆群	303	64	110	89	40	239	78.9
	入 市 ・ 他 群	471	74	166	148	83	397	84.3
	計	959	178	339	294	148	781	81.4
計	2.0km以内直接被爆群	373	129	114	95	35	244	65.4
	2.1km以上直接被爆群	643	247	208	137	51	396	61.6
	入 市 ・ 他 群	954	318	310	222	104	636	66.7
	計	1,970	694	632	454	190	1,276	64.8

¹ 有所見率: 有所見例数/受診者数 × 100

オ 原爆被爆二世健康診断の実施

原爆被爆二世の健康面での不安を除く等のために、昭和 48 年度から、広島市の事業として委託を受けて健康診断を開始し、昭和 54 年度からは、財団法人日本公衆衛生協会の事業（国が協会に委託している事業）、平成 13 年度からは国が広島県・広島市に委託している健康診断事業を実施している。また、平成 2 年度からは東京都の健康診断事業もあわせて委託を受けて行っている。

なお、平成 28 年度からは多発性骨髄腫検査も実施している。

健康診断は、被爆者の場合と同様に一般検査と精密検査になっている。

原爆被爆二世健康診断の実施状況は表 14 のとおりである。

表 14 原爆被爆二世健康診断実施状況

(単位：件，%)

年 度	一般検査	精密検査	精検受診率
昭和 48	578	580	100.3
49	109	110	100.9
50	82	83	101.2
51	51	51	100.0
52	131	129	98.5
53	124	126	101.6
54	1,942	1,768	91.0
55	1,041	626	60.1
56	854	494	57.8
57	995	572	57.5
58	1,152	663	57.6
59	1,551	853	55.0
60	1,798	1,072	59.6
61	1,967	1,155	58.7
62	2,250	1,314	58.4
63	2,780	1,551	55.8
平成元	2,417	1,161	48.0
2	2,078	1,127	54.2
3	2,132	1,219	57.2
4	2,309	1,520	65.8
5	2,508	1,610	64.2
6	2,297	1,698	73.9
7	2,391	1,936	81.0
8	2,475	2,138	86.4
9	2,867	2,309	80.5
10	2,786	2,796	100.4

年 度	一般検査	精密検査	精検受診率
11	3,201	3,202	100.0
12	3,711	3,711	100.0
13	3,762	3,762	100.0
14	2,919	2,919	100.0
15	3,150	3,150	100.0
16	2,483	2,483	100.0
17	2,678	2,678	100.0
18	2,497	2,497	100.0
19	2,477	2,477	100.0
20	2,428	2,428	100.0
21	2,565	2,565	100.0
22	2,486	2,486	100.0
23	2,344	2,344	100.0
24	2,525	2,525	100.0
25	2,432	2,432	100.0
26	2,489	2,489	100.0
27	2,452	2,452	100.0
28	2,487	2,487	100.0
29	2,362	2,362	100.0
30	2,285	2,285	100.0
令和元	2,149	2,149	100.0
2	1,881	1,881	100.0
3	2,042	2,042	100.0
4	2,390	2,390	100.0
5	2,843	2,843	100.0
6	3,088	3,088	100.0
7	3,047	3,047	100.0

カ 健康管理の推進

(7) 悪性新生物の早期発見

広島大学大学院医系科学研究科、同原爆放射線医科学研究所、(公財)放射線影響研究所等の協力を得て、胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん・多発性骨髄腫・大腸がん等の悪性新生物の早期発見に努めた。

(4) 生活習慣病の早期発見と指導

増加傾向にある糖尿病・動脈硬化症・高血圧等の生活習慣病及び骨粗鬆症、サルコペニア、認知症等の早期発見に努めるとともに、必要に応じて適切な保健指導及び栄養指導を行った。

キ 健康診断医療機器等の整備

令和 7 年 (2025 年) 9 月 乳房 X 線撮影装置 更新整備
 12 月 生理検査システム 更新整備

ク 被爆者健康管理資料の整備

受診者に関する健診資料(カルテ、心電図所見等)を分類整理し保存するとともに、これら健康診断の実績、結果等について諸統計を作成し、調査研究資料として整備した。

(2) 高齢者医療確保法・健康増進法等による健康診査等

ア 健康診査等の実施

広島市総合健康センターへ移転した平成元年 9 月から、住民の健康管理を推進するため、広島市の委託を受け、高齢者医療確保法に基づく特定健康診査、健康増進法に基づくがん検診、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断等を実施している。その概要は表 1、検査項目は表 2、実施状況は表 3 のとおりである。

表 1 検診内容・検診区域の推移

検診会場 検診項目	施設検診	集 団 検 診			
		中区・東区・南区・西区・佐伯区	安芸区	安佐南区	安佐北区
老 健 法 基 本 健 康 診 査	元. 9～20.3	2. 4～20.3		10. 4～20.3*	10. 4～20.3*◇
特定健康診査・健康診査	20.5～	20.5～	27.4～△	20.5～*	20.5～*
胃 が ん 検 診	元. 9～	2. 4～	4. 4～	5. 4～	
肺 が ん 検 診		8. 4～			
乳 が ん 検 診□		2. 4～	4. 4～	5. 4～	
子 宮 頸 が ん 検 診					
大 腸 が ん 検 診	4. 11～	4. 11～	27.4～△	10. 4～*	10. 4～*◇
結 核 健 診	元. 9～	2. 4～			
骨 粗 鬆 症 検 診	7. 10～	30.5～☆			
マンモグラフィ検診	9. 4～17.3◎				
C 型・B 型肝炎ウイルス検査	10. 10～	10. 10～	31. 4～	10. 10～*	10. 10～*◇

「元. 9～」等は、検診開始年月

* 日曜検診及び平成 28 年～5 大がん検診会場（安佐医師会館、安佐公民館を除く）

◇ 白木町は平成 2 年 4 月から 13 年 3 月まで実施

△ 5 大がん検診会場の一部で実施→令和元年度から全会場で実施

◎ 平成 17 年度から乳がん検診に乳房 X 線検査（マンモグラフィ）が必須項目

□ 平成 30 年度から視触診廃止

☆ 平成 30 年度から令和元年度までは 5 大がん検診会場のみ実施

表 2 健診種別及び検査項目（令和 7 年度）

種 別		対 象 者（*）	検 査 項 目
特定健康診査		40 歳以上 75 歳未満[年度内に 40 歳になる 39 歳の方は受診可]	必須検査：身体測定・血圧測定・尿検査・血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査・診察
健康診査	医療保険未加入者	上記年齢者の医療保険未加入者	詳細項目：心電図・眼底検査・腎機能検査・貧血検査 (医師の判断により実施)
	後期高齢者医療被保険者	75 歳以上の方	追加検査：尿酸検査・腎機能検査・貧血検査 (広島市のみ)
がん検診	胃がん検診	X 線検査については年度内に 40 歳以上の年齢に達する方 内視鏡検査については年度内に 50 歳以上の年齢に達する方、2 年に 1 回	胃部 X 線撮影 胃内視鏡検査
	肺がん検診	年度内に 40 歳以上の年齢に達する方	胸部 X 線撮影、喀痰細胞診検査
	乳がん検診	40 歳及び 41 歳以上で奇数歳の女性、2 年に 1 回	マンモグラフィによる画像診断
	子宮頸がん検診	20 歳及び 21 歳以上で奇数歳の女性、2 年に 1 回	視診、内診、細胞診(頸部)
	大腸がん検診	年度内に 40 歳以上の年齢に達する方	便潜血二日法
結核健康診断		65 歳以上の方[年度内に 65 歳になる 64 歳の方は受診可]	胸部 X 線撮影
骨粗鬆症検診		女性：20 歳から 5 歳間隔の年齢の方 男性：40 歳から 5 歳間隔の年齢の方	骨塩定量検査(超音波方式)
C 型・B 型肝炎ウイルス検査		各種健診等により肝炎ウイルス検査を受けたことのない、又は、受ける予定のない 20 歳以上の方	HCV 抗体検査 HBs 抗原検査

(*)がん検診、結核健康診断及び骨粗鬆症検診は広島市在住者のみ

表3 実施状況

(単位:件)

年度	基本健康診査		がん検診					結核定期健康診断	骨粗鬆症検診	マンモグラフィ検診	C型・B型肝炎ウイルス検査
	必須検査	選択検査	胃がん※3	肺がん	乳がん	子宮がん	大腸がん				
平成元	418	295	75	1	73	71	－	374	－	－	－
2	14,699	9,910	9,037	757	9,065	8,619	－	22,683	－	－	－
3	15,245	12,060	8,693	483	8,749	8,537	－	22,433	－	－	－
4	15,383	12,051	9,752	392	9,161	8,940	637	22,782	－	－	－
5	15,723	12,471	14,288	401	13,436	13,026	1,692	22,948	－	－	－
6	14,996	12,205	13,556	319	12,357	12,185	1,625	22,053	－	－	－
7	15,278	13,394	13,800	262	12,338	12,165	1,793	21,608	3,585	－	－
8	12,740	12,387	12,387	14,224	10,828	10,803	3,330	16,584	1,834	－	－
9	14,589	14,514	13,579	16,589	11,616	11,280	4,701	18,726	3,685	1,901	－
10	15,308	15,297	12,914	16,472	10,263	10,163	4,821	18,108	4,140	1,745	5,847
11	16,011	16,008	13,246	16,982	10,510	10,498	5,181	19,436	3,182	1,811	9,442
12	16,303	16,302	13,786	17,579	11,174	11,346	5,761	21,187	2,184	1,949	6,303
13	16,970	16,970	14,757	18,792	11,977	12,062	6,347	20,798	2,081	2,327	283
14	18,238	18,238	15,452	20,127	12,296	12,376	7,131	21,914	2,646	2,434	1,641
15	19,352	19,352	16,448	21,258	13,381	13,181	7,854	22,747	2,972	3,224	2,358
16	19,455	19,455	15,862	20,958	13,758	13,066	8,107	22,006	2,228	4,321	2,937
17	18,481	18,481	15,662	20,378	2,961	6,297	8,229	10,314	1,912		2,577
18	19,331	19,331	16,207	21,187	8,011	8,345	8,951	11,148	2,304		2,285
19	19,645	19,645	16,865	21,284	9,266	9,355	9,524	11,630	2,486		1,488
20	特定健康診査※1 特定保健指導		17,062	17,496	8,686	8,976	8,978	10,400	1,589		651
	特定健診	保健指導※4									
	13,840	12									
21	17,141	50	17,718	20,116	11,116	10,623	10,542	12,222	1,911		435
22	14,201	63	17,153	18,905	10,027	9,793	10,087	11,387	2,072		107
23	14,597	70	16,477	19,080	10,636	10,025	14,325	11,174	2,147		111
24	16,285	47	17,033	20,276	10,604	9,724	15,461	12,114	3,090		411
25	18,034	82	16,240	20,499	10,758	9,714	14,230	12,736	2,857		11,885※2
26	19,140	59	15,887	23,965	8,816	7,073	18,822	14,117	3,346		9,974
27	19,240	516	15,830	23,409	9,698	7,475	19,695	13,924	3,009		9,705
28	19,404	566	14,614	22,768	8,646	6,846	18,223	14,061	2,792		7,037
29	19,891	691	15,386(2,837)	23,312	8,392	6,879	17,911	15,156	3,301		7,580
30	20,919	783	13,906(2,360)	24,009	7,917	6,399	18,502	16,071	3,973		6,623
令和元	20,193	635	12,794(2,607)	22,790	8,208	6,627	17,849	15,260	3,455		4,547
◎ 2	15,926	529	10,350(2,138)	18,745	5,861	4,788	15,224	12,437	3,639		2,767
◎ 3	16,207	510	10,795(2,807)	18,562	6,665	5,411	15,604	12,234	3,706		2,624
4	18,219	725	11,096(2,882)	20,132	7,072	5,694	16,645	13,270	4,177		3,255
5	18,408	609	10,607(2,861)	20,036	7,185	5,826	16,541	13,279	4,412		4,724
6	18,806	724	9,622(2,765)	19,872	6,928	5,520	16,425	13,447	4,262		3,714
7	18,570	548	9,324(3,270)	19,508	6,772	5,328	16,333	13,261	4,089		2,515

※1 特定健康診査は、被用者保険加入者の健康診査・医療保険未加入者の健康診査・後期高齢者の健康診査を含む。(令和2年度までは被爆者特定健診も含む)

※2 C型・B型肝炎ウイルス検査は、平成25年度から緊急肝炎ウイルス検査事業(無料)による件数である。

※3 胃がん検診は、平成29年度から、胃部X線検査か胃内視鏡検査を選択できるようになった。()内は胃内視鏡検査の受診者数(内数)

※4 特定保健指導の平成20年度は積極的支援のみ、平成21年度からは動機づけ及び積極的支援の件数である。平成27年度より当日支援を開始したため、受診者が増加している。

◎ 新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言を踏まえ集団健診を中止した期間があるため、受診者数等が減少している。

イ 令和 7 年度健康診査等実施状況

令和 7 年度の健康診査等の受診者数は、表 4 a に示すとおり、男性 7,854 人、女性 10,716 人、計 18,570 人であった。年齢別にみると、男女とも 70 歳代が多かった。区別の受診者数では、西区が 15.8% と最も多く、次いで南区が 15.7%、中区が 15.2%、安佐南区が 12.6% であった(表 4 b)。

表 4 健康診査等

a 受診者数

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		(%)		(%)		(%)
39 ～ 49	620	7.9	1,002	9.4	1,622	8.7
50 ～ 59	777	9.9	1,379	12.9	2,156	11.6
60 ～ 69	1,761	22.4	2,724	25.4	4,485	24.2
70 ～ 79	3,623	46.1	4,513	42.1	8,136	43.8
80 以上	1,073	13.7	1,098	10.2	2,171	11.7
計	7,854	100.0	10,716	100.0	18,570	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		(%)		(%)		(%)
中 区	1,155	14.7	1,672	15.6	2,827	15.2
東 区	898	11.4	1,164	10.9	2,062	11.1
南 区	1,211	15.4	1,696	15.8	2,907	15.7
西 区	1,258	16.0	1,675	15.6	2,933	15.8
安佐南区	970	12.4	1,368	12.8	2,338	12.6
安佐北区	830	10.6	1,104	10.3	1,934	10.4
安 芸 区	567	7.2	740	6.9	1,307	7.0
佐 伯 区	960	12.2	1,288	12.0	2,248	12.1
市 外	5	0.1	9	0.1	14	0.1
計	7,854	100.0	10,716	100.0	18,570	100.0

*対象は広島市特定健康診査等の受診者

ウ 令和 6 年度がん検診等実施状況

(7) 胃がん検診

胃部 X 線検査による胃がん検診の受診者数は表 5 a に示すとおり、男性 3,006 人、女性 3,851 人、計 6,857 人である。要精検率は男性 6.2%、女性 3.1%、計 4.4%、精検受診率はそれぞれ 84.9%、86.7%、85.6% である。要精検率は男性が女性に比しやや高率である。(全体で見ると、高齢になるほど高率となる。)

精検結果は表 5 b に示すとおり、胃部 X 線検査後の内視鏡検査では、有所見率は男性 95.54%、女性 90.38%、計 93.49% であり、男性が女性に比し高率である。主な所見の内訳は、胃潰瘍が 7.66% と最も多く、次いで胃ポリープ 4.98%、胃癌 1.92% である。

胃内視鏡検査による胃がん検診の受診者数は表 5 a に示すとおり、男性 1,412 人、女性 1,353 人、計 2,765 人である。精検結果は表 5 b に示すとおり、精検所見の内訳は、胃がん 13.77%、その他のがん(食道がん) 2.40%、胃腺腫 1.8% である。

令和 6 年度新たに発見された胃癌症例は表 5 c に示すとおりである。胃部 X 線検査では、胃癌症例は男性 4 例、女性 1 例、計 5 例である。胃癌発見率は男性 0.13% 女性 0.03%、計 0.07%、陽性反応的中度は 2.16%、0.83%、1.64% である。

胃内視鏡検査では、胃癌症例は男性 18 例、女性 5 例、計 23 例である。胃癌発見率は男性 1.27%、女性 0.37%、全体で 0.83%である。

厚生労働省の令和 5 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の胃癌発見率 0.11%、陽性反応的中度 1.94%に比し胃癌発見率、陽性反応的中度はやや低率となっている。

表 5 胃がん検診

a 受診者数，要精検者数および精検受診者数

胃部 X 線検査

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²
39～49	400	16	4.0	13	81.3	964	16	1.7	16	100.0	1,364	32	2.3	29	90.6
50～59	463	15	3.2	14	93.3	834	16	1.9	12	75.0	1,297	31	2.4	26	83.9
60～69	845	42	5.0	38	90.5	938	35	3.7	29	82.9	1,783	77	4.3	67	87.0
70～79	1,129	91	8.1	76	83.5	1,017	44	4.3	40	90.9	2,146	135	6.3	116	85.9
80以上	169	21	12.4	16	76.2	98	9	9.2	7	77.8	267	30	11.2	23	76.7
計	3,006	185	6.2	157	84.9	3,851	120	3.1	104	86.7	6,857	305	4.4	261	85.6

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

胃内視鏡検査

単位(人)

年齢 (歳)	男 性	女 性	計
49～59	128	237	365
60～69	372	393	765
70～79	741	592	1,333
80以上	171	131	302
計	1,412	1,353	2,765

b 精検結果

胃部 X 線検査

(単位:人)

		精 検 所 見																有所見例数	
性	年齢 (歳)	胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫		胃ポリープ		胃潰瘍		その他		正常			
		(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹				
男性	39～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	7.69	11	84.62	1	7.69	12	92.31
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	14.29	3	21.43	8	57.14	1	7.14	13	92.86
	60～69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	5.26	5	13.16	29	76.32	2	5.26	36	94.74
	70～79	3	3.95	0	0.00	0	0.00	1	1.32	2	2.63	4	5.26	64	84.21	2	2.63	74	97.37
	80以上	1	6.25	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	6.25	13	81.25	1	6.25	15	93.75
	計	4	2.55	0	0.00	0	0.00	1	0.64	6	3.82	14	8.92	125	79.62	7	4.46	150	95.54
女性	39～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	12	75.00	4	25.00	12	75.00
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	8.33	0	0.00	10	83.33	1	8.33	11	91.67
	60～69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	3.45	2	6.90	23	79.31	3	10.34	26	89.66
	70～79	0	0.00	0	0.00	1	2.50	0	0.00	5	12.50	4	10.00	28	70.00	2	5.00	38	95.00
	80以上	1	14.29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	6	85.71	0	0.00	7	100.00
	計	1	0.96	0	0.00	1	0.96	0	0.00	7	6.73	6	5.77	79	75.96	10	9.62	94	90.38
計	39～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	3.45	23	79.31	5	17.24	24	82.76
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	11.54	3	11.54	18	69.23	2	7.69	24	92.31
	60～69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	4.48	7	10.45	52	77.61	5	7.46	62	92.54
	70～79	3	2.59	0	0.00	1	0.86	1	0.86	7	6.03	8	6.90	92	79.31	4	3.45	112	96.55
	80以上	2	8.70	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	4.35	19	82.61	1	4.35	22	95.65
	計	5	1.92	0	0.00	1	0.38	1	0.38	13	4.98	20	7.66	204	78.16	17	6.51	244	93.49

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数 × 100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	年齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検受診者数		精 検 所 見							
			(%) ¹	(%) ²	(%) ³	(%) ³	胃癌		非上皮性腫瘍		その他のがん		胃腺腫	
							(%) ³	(%) ³	(%) ³	(%) ³	(%) ³	(%) ³	(%) ³	(%) ³
男性	49～59	128	3	2.34	3	100.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	60～69	372	18	4.84	18	100.00	4	22.22	0	0.00	0	0.00	1	5.56
	70～79	741	47	6.34	47	100.00	10	21.28	0	0.00	1	2.13	1	2.13
	80以上	171	20	11.70	20	100.00	4	20.00	0	0.00	2	10.00	0	0.00
	計	1,412	88	6.23	88	100.00	18	20.45	0	0.00	3	3.41	2	2.27
女性	49～59	237	5	2.11	5	100.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	60～69	393	16	4.07	16	100.00	2	12.50	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	70～79	592	45	7.60	45	100.00	2	4.44	0	0.00	1	2.22	1	2.22
	80以上	131	13	9.92	13	100.00	1	7.69	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	計	1,353	79	5.84	79	100.00	5	6.33	0	0.00	1	1.27	1	1.27
計	49～59	365	8	2.19	8	100.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	60～69	765	34	4.44	34	100.00	6	17.65	0	0.00	0	0.00	1	2.94
	70～79	1,333	92	6.90	92	100.00	12	13.04	0	0.00	2	2.17	2	2.17
	80以上	302	33	10.93	33	100.00	5	15.15	0	0.00	2	6.06	0	0.00
	計	2,765	167	6.04	167	100.00	23	13.77	0	0.00	4	2.40	3	1.80

¹ 要精検率:「生検あり」と「再検査」該当数/受診者数×100

² 精検受診率:要精検のうち精検受診者数/「生検あり」と「再検査」該当数×100

³ 有所見率:所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た胃癌発見率

胃部X線検査

(単位:人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃 癌 症 例		
			(%) ¹	(%) ²	(%) ²	(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応的中度(%) ⁴	(%) ⁴
男性	施 設 検 診	1,867	93	5.0	79	84.9	2	0.11	2.15
	集 団 検 診	1,139	92	8.1	78	84.8	2	0.18	2.17
	計	3,006	185	6.2	157	84.9	4	0.13	2.16
女性	施 設 検 診	1,873	56	3.0	52	92.9	1	0.05	1.79
	集 団 検 診	1,978	64	3.2	52	81.3	0	0.00	0.00
	計	3,851	120	3.1	104	86.7	1	0.03	0.83
計	施 設 検 診	3,740	149	4.0	131	87.9	3	0.08	2.01
	集 団 検 診	3,117	156	5.0	130	83.3	2	0.06	1.28
	計	6,857	305	4.4	261	85.6	5	0.07	1.64
令和5年度全国		1,987,891	110,138	5.54	-	81.3	2,138	0.11	1.94

¹ 要精検率:要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率:精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率:症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度:癌症例数/要精検者数×100

胃内視鏡検査

(単位:人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		胃 癌 症 例		
				(%) ¹		(%) ²		発見率(%) ³	陽性反応の中度(%) ⁴
男性	施 設 検 診	1,412	88	6.23	88	100.00	18	1.27	20.45
女性		1,353	79	5.84	79	100.00	5	0.37	6.33
計		2,765	167	6.04	167	100.00	23	0.83	13.77

¹ 要精検率:「生検あり」と「再検査」該当数/受診者数×100

² 精検受診率:要精検のうち精検受診者数/「生検あり」と「再検査」該当数×100

³ 発見率:症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度:胃癌症例数/「生検あり」と「再検査」該当数×100

(イ) 肺がん検診

肺がん検診の受診者数は表 6 a に示すとおり、男性 8,245 人、女性 11,627 人、計 19,872 人である。要精検率は男性 2.0%、女性 1.9%、計 2.0%、精検受診率はそれぞれ 94.0%、95.1%、94.6%である。

精検結果は表 6 b に示すとおり、有所見率は男性 69.87%、女性 74.77%、計 72.70%である。主な所見の内訳は、肺癌 4.86%、肺炎 2.70%、肺線維症 1.89%である。

令和 6 年度新たに発見された肺癌症例は表 6 c に示すとおり、男性 8 例、女性 10 例、計 18 例である。肺癌発見率は男性 0.10%、女性 0.09%、計 0.09%で、陽性反応的中度はそれぞれ 4.82%、4.44%、4.60%である。

厚生労働省の令和 5 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の肺癌発見率 0.06%、陽性反応的中度 2.56%に比し肺癌発見率で約 1.5 倍、陽性反応的中度で約 1.8 倍と高率で、本協議会の肺がん検診の精度は良好と考える。

表 6 肺がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²		(%) ¹	(%) ²	(%) ¹	(%) ²
39～49	572	10	1.7	10	100.0	1,533	19	1.2	18	94.7	2,105	29	1.4	28	96.6
50～59	860	13	1.5	12	92.3	1,801	28	1.6	27	96.4	2,661	41	1.5	39	95.1
60～69	1,934	40	2.1	39	97.5	2,701	50	1.9	47	94.0	4,635	90	1.9	86	95.6
70～79	3,780	76	2.0	68	89.5	4,482	101	2.3	96	95.0	8,262	177	2.1	164	92.7
80以上	1,099	27	2.5	27	100.0	1,110	27	2.4	26	96.3	2,209	54	2.4	53	98.1
計	8,245	166	2.0	156	94.0	11,627	225	1.9	214	95.1	19,872	391	2.0	370	94.6

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数 × 100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数 × 100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数			
		肺 癌		縦隔腫瘍		活動性肺結核		非結核性抗酸菌症		肺 炎		肺線維症		その他				正常	
			(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹
男 性	39～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	6	60.00	4	40.00	6	60.00
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	9	75.00	3	25.00	9	75.00
	60～69	2	5.13	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	5.13	0	0.00	22	56.41	13	33.33	26	66.67
	70～79	5	7.35	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	1.47	4	5.88	39	57.35	19	27.94	49	72.06
	80以上	1	3.70	1	3.70	0	0.00	0	0.00	3	11.11	1	3.70	13	48.15	8	29.63	19	70.37
	計	8	5.13	1	0.64	0	0.00	0	0.00	6	3.85	5	3.21	89	57.05	47	30.13	109	69.87
女 性	40～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	5.56	0	0.00	13	72.22	4	22.22	14	77.78
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	3.70	0	0.00	1	3.70	14	51.85	11	40.74	16	59.26
	60～69	1	2.13	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	36	76.60	10	21.28	37	78.72
	70～79	9	9.38	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	3.13	1	1.04	63	65.63	20	20.83	76	79.17
	80以上	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	3.85	0	0.00	0	0.00	16	61.54	9	34.62	17	65.38
	計	10	4.67	0	0.00	0	0.00	2	0.93	4	1.87	2	0.93	142	66.36	54	25.23	160	74.77
計	39～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	3.57	0	0.00	19	67.86	8	28.57	20	71.43
	50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	2.56	0	0.00	1	2.56	23	58.97	14	35.90	25	64.10
	60～69	3	3.49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	2.33	0	0.00	58	67.44	23	26.74	63	73.26
	70～79	14	8.54	0	0.00	0	0.00	0	0.00	4	2.44	5	3.05	102	62.20	39	23.78	125	76.22
	80以上	1	1.89	1	1.89	0	0.00	1	1.89	3	5.66	1	1.89	29	54.72	17	32.08	36	67.92
	計	18	4.86	1	0.27	0	0.00	2	0.54	10	2.70	7	1.89	231	62.43	101	27.30	269	72.70

¹ 有所見率: 所見例数/精検受診者数 × 100

c 検診状況別に見た肺癌発見率

(単位:人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		肺 癌 症 例		
				(%) ¹		(%) ²		発見率(%) ³	陽性反応の中度(%) ⁴
男性	施 設 検 診	5,853	107	1.8	102	95.3	6	0.10	5.61
	集 団 検 診	2,392	59	2.5	54	91.5	2	0.08	3.39
	計	8,245	166	2.0	156	94.0	8	0.10	4.82
女性	施 設 検 診	7,274	127	1.7	122	96.1	6	0.08	4.72
	集 団 検 診	4,353	98	2.3	92	93.9	4	0.09	4.08
	計	11,627	225	1.9	214	95.1	10	0.09	4.44
計	施 設 検 診	13,127	234	1.8	224	95.7	12	0.09	5.13
	集 団 検 診	6,745	157	2.3	146	93.0	6	0.09	3.82
	計	19,872	391	2.0	370	94.6	18	0.09	4.60
令和5年度全国		7,464,041	162,185	2.17	—	83.0	4,146	0.06	2.56

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(ウ) 乳がん検診

乳がん検診の対象者は年度末年齢 40 才以上で、2 年に1回受診することができる。乳がん検診の受診者数は表 7 a に示すとおり、6,928 人である。要精検率は 4.5%、精検受診率は 97.8%である。

精検結果は表 7 b に示すとおり、有所見率は 72.13%で、主な所見の内訳は、良性疾患 56.72%、乳癌 15.41%である。

令和 6 年度新たに発見された乳癌症例は表 7 c に示すとおり、47 例である。乳癌発見率は 0.68%、陽性反応的中度は 15.06%である。

厚生労働省の令和 5 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の乳癌発見率 0.37%、陽性反応的中度 6.83%に比し乳癌発見率で約 1.8 倍、陽性反応的中度で約 2.2 倍と高率で、本協議会の乳がん検診の精度は良好と考える。

表 7 乳がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

年齢 (歳)	乳がん検診				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数	
			(%) ¹		(%) ²
39～49	1,286	88	6.8	85	96.6
50～59	1,168	63	5.4	62	98.4
60～69	1,619	67	4.1	66	98.5
70～79	2,373	75	3.2	73	97.3
80以上	482	19	3.9	19	100.0
計	6,928	312	4.5	305	97.8

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

年齢 (歳)		精 検 所 見																有所見例数					
		悪性腫瘍								良性疾患										所見なし		正常	
		乳癌				その他				良性腫瘍				その他の良性疾患									
		早期		進行期		病期不明																	
(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹	(%) ¹							
39～49	5	5.88	4	4.71	1	1.18	0	0.00	0	0.00	11	12.94	52	61.18	17	20.00	0	0.00	68	80.00			
50～59	3	4.84	3	4.84	0	0.00	0	0.00	0	0.00	8	12.90	33	53.23	18	29.03	0	0.00	44	70.97			
60～69	14	21.21	10	15.15	4	6.06	0	0.00	0	0.00	3	4.55	28	42.42	21	31.82	0	0.00	45	68.18			
70～79	21	28.77	13	17.81	7	9.59	1	1.37	0	0.00	4	5.48	25	34.25	23	31.51	0	0.00	50	68.49			
80以上	4	21.05	3	15.79	1	5.26	0	0.00	0	0.00	0	0.00	9	47.37	6	31.58	0	0.00	13	68.42			
計	47	15.41	33	10.82	13	4.26	1	0.33	0	0.00	26	8.52	147	48.20	85	27.87	0	0.00	220	72.13			

¹ 有所見率: 有所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た乳癌発見率

(単位:人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		乳 癌 症 例		
		(%) ¹		(%) ²		発見率(%) ³	陽性反応的中度(%) ⁴	
施 設 検 診	3,812	169	4.4	165	97.6	25	0.66	14.79
集 団 検 診	3,116	143	4.6	140	97.9	22	0.71	15.38
計	6,928	312	4.5	305	97.8	47	0.68	15.06
令和5年度全国	2,929,787	160,460	5.47	—	90.8	10,952	0.37	6.83

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(I) 子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の対象者は20歳以上で、2年に1回受診することができる。子宮頸がん検診の受診者数は表8 aに示すとおり、5,520人である。要精検率は0.9%、精検受診率は87.5%である。

精検結果は表8 bに示すとおり、有所見率は57.14%である。主な所見の内訳は、CIN1が21.43%、CIN3が11.90%、CIN2が7.14%であった。

令和6年度新たに発見された子宮頸癌症例は表8 cに示すとおり、0例である。

厚生労働省の令和5年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の子宮頸癌発見率は0.02%、陽性反応的中度は1.16%であった。

表8 子宮頸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数 (単位:人)

年齢 (歳)	受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹		(%) ²	
20～29	99	5	5.1	3	60.0
30～39	158	2	1.3	2	100.0
40～49	763	16	2.1	14	87.5
50～59	972	14	1.4	13	92.9
60～69	1,327	2	0.2	2	100.0
70～79	1,833	7	0.4	6	85.7
80以上	368	2	0.5	2	100.0
計	5,520	48	0.9	42	87.5

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

精 検 所 見																				有所見例数	
年齢 (歳)	子宮頸癌		その他の悪性疾患		AIS		CIN3		CIN2		HSIL		CIN1		その他		正常				
		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹			
21～29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	66.67	0	0.00	1	33.33	0	0.00	0	0.00	3	100.00	
30～39	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	1	50.00	1	50.00	0	0.00	2	100.00	
40～49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	3	21.43	1	7.14	0	0.00	1	7.14	2	14.29	7	50.00	7	50.00	
50～59	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	15.38	0	0.00	0	0.00	4	30.77	2	15.38	5	38.46	8	61.54	
60～69	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	100.00	0	0.00	
70～79	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	33.33	2	33.33	2	33.33	4	66.67	
80以上	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	2	100.00	0	0.00	
計	0	0.00	0	0.00	0	0.00	5	11.90	3	7.14	0	0.00	9	21.43	7	16.67	18	42.86	24	57.14	

¹ 有所見率: 所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た子宮頸癌発見率

(単位:人)

検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		子 宮 頸 癌 症 例		
		(%) ¹		(%) ²		発見率(%) ³	陽性反応的中度(%) ⁴	
施 設 検 診	2,903	19	0.7	18	94.7	0	0.00	0.00
集 団 検 診	2,617	29	1.1	24	82.8	0	0.00	0.00
計	5,520	48	0.9	42	87.5	0	0.00	0.00
令和5年度全国	4,079,890	82,073	2.01	-	78.1	952	0.02	1.16

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

⁴ 陽性反応的中度: 癌症例数/要精検者数×100

(オ) 大腸がん検診

大腸がん検診の受診者数は表 9 a に示すとおり、男性 6,798 人、女性 9,627 人、計 16,425 人である。要精検率は男性 11.9%、女性 8.0%、計 9.6%、精検受診率はそれぞれ 79.6%、83.5%、81.5%である。

精検結果は表 9 b に示すとおり、有所見率は男性 78.82%、女性 73.02%、計 75.91%である。主な所見の内訳は、腺腫 41.96%、大腸憩室 10.18%、非腫瘍性ポリープ 9.40%、大腸癌 4.20%である。

令和 6 年度新たに発見された大腸癌症例は表 9 c に示すとおり、男性 27 例、女性 27 例、計 54 例である。大腸癌発見率は男性 0.40%、女性 0.28%、計 0.33%であり、陽性反応的中度はそれぞれ 3.35%、3.50%、3.42%である。

厚生労働省の令和 5 年度地域保健・健康増進事業報告の全国集計の大腸癌発見率 0.24%、陽性反応的中度 3.54%に比し大腸がん発見率は約 1.4 倍で、陽性反応的中度はほぼ同率である。

表 9 大腸がん検診

a 受診者数、要精検者数および精検受診者数

(単位:人)

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性					女 性					計				
	受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数		受診者数	要精検者数		精検受診者数	
		(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²			(%) ¹		(%) ²	
39～49	441	34	7.7	28	82.4	1,246	76	6.1	57	75.0	1,687	110	6.5	85	77.3
50～59	727	75	10.3	57	76.0	1,572	111	7.1	88	79.3	2,299	186	8.1	145	78.0
60～69	1,665	157	9.4	124	79.0	2,453	191	7.8	170	89.0	4,118	348	8.5	294	84.5
70～79	3,124	411	13.2	330	80.3	3,565	290	8.1	249	85.9	6,689	701	10.5	579	82.6
80以上	841	130	15.5	103	79.2	791	104	13.1	81	77.9	1,632	234	14.3	184	78.6
計	6,798	807	11.9	642	79.6	9,627	772	8.0	645	83.5	16,425	1,579	9.6	1,287	81.5

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

b 精検結果

(単位:人)

性	年齢 (歳)	精 検 所 見														有所見例数			
		大腸癌		大腸癌以外の悪性腫瘍		腺 腫		非腫瘍性ポリープ		潰瘍性大腸炎		大腸憩室		その他				正常	
			(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹		(%) ¹
男 性	39～49	0	0.00	0	0.00	12	42.86	1	3.57	1	3.57	1	3.57	1	3.57	12	42.86	16	57.14
	50～59	5	8.77	0	0.00	21	36.84	5	8.77	1	1.75	3	5.26	2	3.51	20	35.09	37	64.91
	60～69	4	3.23	0	0.00	61	49.19	13	10.48	1	0.81	11	8.87	13	10.48	21	16.94	103	83.06
	70～79	15	4.55	0	0.00	148	44.85	40	12.12	1	0.30	41	12.42	26	7.88	59	17.88	271	82.12
	80以上	3	2.91	0	0.00	46	44.66	9	8.74	1	0.97	11	10.68	9	8.74	24	23.30	79	76.70
	計	27	4.21	0	0.00	288	44.86	68	10.59	5	0.78	67	10.44	51	7.94	136	21.18	506	78.82
女 性	39～49	1	1.75	0	0.00	8	14.04	5	8.77	1	1.75	6	10.53	15	26.32	21	36.84	36	63.16
	50～59	1	1.14	0	0.00	32	36.36	6	6.82	1	1.14	8	9.09	10	11.36	30	34.09	58	65.91
	60～69	12	7.06	0	0.00	80	47.06	11	6.47	1	0.59	13	7.65	16	9.41	37	21.76	133	78.24
	70～79	10	4.02	0	0.00	98	39.36	23	9.24	3	1.20	23	9.24	20	8.03	72	28.92	177	71.08
	80以上	3	3.70	0	0.00	34	41.98	8	9.88	0	0.00	14	17.28	8	9.88	14	17.28	67	82.72
	計	27	4.19	0	0.00	252	39.07	53	8.22	6	0.93	64	9.92	69	10.70	174	26.98	471	73.02
計	39～49	1	1.18	0	0.00	20	23.53	6	7.06	2	2.35	7	8.24	16	18.82	33	38.82	52	61.18
	50～59	6	4.14	0	0.00	53	36.55	11	7.59	2	1.38	11	7.59	12	8.28	50	34.48	95	65.52
	60～69	16	5.44	0	0.00	141	47.96	24	8.16	2	0.68	24	8.16	29	9.86	58	19.73	236	80.27
	70～79	25	4.32	0	0.00	246	42.49	63	10.88	4	0.69	64	11.05	46	7.94	131	22.63	448	77.37
	80以上	6	3.26	0	0.00	80	43.48	17	9.24	1	0.54	25	13.59	17	9.24	38	20.65	146	79.35
	計	54	4.20	0	0.00	540	41.96	121	9.40	11	0.85	131	10.18	120	9.32	310	24.09	977	75.91

¹ 有所見率: 所見例数/精検受診者数×100

c 検診状況別に見た大腸癌発見率

(単位:人)

性	検 診 状 況	受診者数	要精検者数		精検受診者数		大 腸 癌 症 例		
			(%) ¹	(%) ¹	(%) ²	(%) ²	発見率(%) ³	陽性反応の中度(%) ⁴	
男性	施 設 検 診	5,044	598	11.9	473	79.1	19	0.38	3.18
	集 団 検 診	1,754	209	11.9	169	80.9	8	0.46	3.83
	計	6,798	807	11.9	642	79.6	27	0.40	3.35
女性	施 設 検 診	6,272	514	8.2	427	83.1	19	0.30	3.70
	集 団 検 診	3,355	258	7.7	218	84.5	8	0.24	3.10
	計	9,627	772	8.0	645	83.5	27	0.28	3.50
計	施 設 検 診	11,316	1,112	9.8	900	80.9	38	0.34	3.42
	集 団 検 診	5,109	467	9.1	387	82.9	16	0.31	3.43
	計	16,425	1,579	9.6	1,287	81.5	54	0.33	3.42
令和5年度全国		7,880,892	527,859	6.70	-	69.9	18,707	0.24	3.54

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100³ 発見率: 症例/受診者数×100⁴ 陽性反応の中度: 症例数/要精検者数×100

(カ) がん検診別に見たがん発見率

5 大がん(胃・肺・大腸・乳・子宮)検診別に見た発見率・陽性反応的中度を表 10 に示す。
胃がん(胃部X線検査)・胃がん(胃内視鏡検査)・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんの
発見率はそれぞれ 0.09%、0.98%、0.10%、0.33%、0.68%、0.00%である。

表 10 がん検診別に見たがん発見率

(単位:人)

性	検査種	受診者数	要精検者数		精検受診者数		癌症例	
				(%) ¹		(%) ²		発見率(%) ³
男性	胃がん(胃部X線検査)	3,006	185	6.2	157	84.9	4	0.13
	胃がん(内視鏡検査)	1,412					21	1.49
	肺がん	8,245	166	2.0	156	94.0	9	0.11
	大腸がん	6,798	807	11.9	642	79.6	27	0.40
女性	胃がん(胃部X線検査)	3,851	120	3.1	104	86.7	2	0.05
	胃がん(内視鏡検査)	1,353					6	0.44
	肺がん	11,627	225	1.9	214	95.1	10	0.09
	大腸がん	9,627	772	8.0	645	83.5	27	0.28
	乳がん	6,928	312	4.5	305	97.8	47	0.68
	子宮頸がん	5,520	48	0.9	42	87.5	0	0.00
計	胃がん(胃部X線検査)	6,857	305	4.4	261	85.6	6	0.09
	胃がん(内視鏡検査)	2,765					27	0.98
	肺がん	19,872	391	2.0	370	94.6	19	0.10
	大腸がん	16,425	1,579	9.6	1,287	81.5	54	0.33
	乳がん	6,928	312	4.5	305	97.8	47	0.68
	子宮頸がん	5,520	48	0.9	42	87.5	0	0.00

¹ 要精検率: 要精検者数/受診者数×100

² 精検受診率: 精検受診者数/要精検者数×100

³ 発見率: 症例数/受診者数×100

(キ) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症検診は、寝たきりの主要な原因として骨折が大きな比重を占めている現状に鑑み、その最大原因としての骨粗鬆症を早期発見・早期予防するために、広島市独自の施策として平成 7 年 10 月より開始された(平成 16 年 4 月からの検診対象者は、男性では 40 歳以上、女性では 20 歳以上の 5 歳刻み)。

令和 6 年度の受診者数は表 11 に示すとおりで、男性 1,533 人、女性 2,729 人、計 4,262 人である。

骨量の「異常あり」と判定された有所見率は、男性 38.2%、女性 60.9%、全体で 52.7%である。

表 11 骨粗鬆症検診

(単位:人)

性	年 齢 (歳)	受診者数	測 定 結 果				
			異常なし	要指導	要精検査	計	(%) ¹
男 性	40・45	60	39	17	4	21	35.0
	50・55	94	65	26	3	29	30.9
	60・65	232	143	71	18	89	38.4
	70・75	871	555	255	61	316	36.3
	80・85・90・95	276	146	101	29	130	47.1
	計	1,533	948	470	115	585	38.2
女 性	20・25・30・35・40・45	257	212	42	3	45	17.5
	50・55	410	273	117	20	137	33.4
	60・65	584	224	272	88	360	61.6
	70・75	1,189	316	577	296	873	73.4
	80・85・90・95	289	43	133	113	246	85.1
	計	2,729	1,068	1,141	520	1,661	60.9
計	20・25・30・35・40・45	317	251	59	7	66	20.8
	50・55	504	338	143	23	166	32.9
	60・65	816	367	343	106	449	55.0
	70・75	2,060	871	832	357	1,189	57.7
	80・85・90・95	565	189	234	142	376	66.5
	計	4,262	2,016	1,611	635	2,246	52.7

¹ 有所見率:「要指導」「要精検査」例数/受診者数×100

(注) 平成27年度より、測定結果を「減少なし・軽度・中等度・高度」から変更

(7) 結核健康診断

結核健康診断は、平成元年9月から広島市の委託を受けて開始した。

令和6年度の受診者数は表12aに示すとおり、男性6,176人、女性7,271人、計13,447人である。区別の受診者数は表12bに示すとおり、安佐北区が最も多く、次いで南区、西区、安佐南区の順である。要精検率は表12cのとおり、男性2.1%、女性2.2%、計2.2%である。

表 12 結核健診

a 受診者数

(単位:人)

年齢 (歳)	男 性		女 性		計	
		(%)		(%)		(%)
64～69	1,295	21.0	1,675	23.0	2,970	22.1
70～79	3,782	61.2	4,486	61.7	8,268	61.5
80以上	1,099	17.8	1,110	15.3	2,209	16.4
計	6,176	100.0	7,271	100.0	13,447	100.0

b 区別にみた受診者数

(単位：人)

区 分	男 性		女 性		計	
		(%)		(%)		(%)
中 区	744	12.0	965	13.3	1,709	12.7
東 区	697	11.3	787	10.8	1,484	11.0
南 区	874	14.2	1,066	14.7	1,940	14.4
西 区	864	14.0	1,010	13.9	1,874	13.9
安 佐 南 区	858	13.9	964	13.3	1,822	13.5
安 佐 北 区	919	14.9	1,062	14.6	1,981	14.7
安 芸 区	463	7.5	548	7.5	1,011	7.5
佐 伯 区	757	12.3	869	12.0	1,626	12.1
計	6,176	100.0	7,271	100.0	13,447	100.0

c 要精検率

(単位：人)

年 齢 (歳)	男 性			女 性			計		
	受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数		受診者数	要精検者数	
			(%) ¹			(%) ¹			(%) ¹
64～69	1,295	28	2.2	1,675	33	2.0	2,970	61	2.1
70～79	3,782	76	2.0	4,486	101	2.3	8,268	177	2.1
80以上	1,099	27	2.5	1,110	27	2.4	2,209	54	2.4
計	6,176	131	2.1	7,271	161	2.2	13,447	292	2.2

¹ 要精検率：要精検者数/受診者数×100

エ 健康管理資料の整備

受診者の健診資料（健康診断個人票・心電図所見・がん症例報告等）を整理、保管した。

(3) 本協議会で発見した悪性新生物症例

本協議会は、がん検診の一次検診だけではなく、消化管内視鏡・超音波・CT・MRI 等を用いた精密検査機関としても機能しており、人間ドックや他施設のがん検診で要精検となった方々の精密検査も行っている。また、健診での自他覚症状に対して検査を行い、発見に至った悪性新生物症例もある。それらの症例を、表 13 本協議会で発見した悪性新生物症例に示す。

表 13 本協議会で発見した悪性新生物症例

* 付きの番号症例は被爆者

No.	年 齢	性 別	病 名
*1	83	M	原 発 性 肺 癌
*2	77	M	原 発 性 肺 癌
*3	86	M	原 発 性 肺 癌
*4	83	M	原 発 性 肺 癌
*5	86	M	原 発 性 肺 癌
*6	85	F	原 発 性 肺 癌
*7	88	M	原 発 性 肺 癌
*8	80	F	原 発 性 肺 癌
*9	82	M	原 発 性 肺 癌
10	77	M	原 発 性 肺 癌
11	75	F	原 発 性 肺 癌
12	78	F	原 発 性 肺 癌
13	66	M	原 発 性 肺 癌
14	74	F	原 発 性 肺 癌
15	77	M	原 発 性 肺 癌
16	71	F	原 発 性 肺 癌
17	63	M	原 発 性 肺 癌
18	77	F	原 発 性 肺 癌
19	65	F	原 発 性 肺 癌
20	76	M	原 発 性 肺 癌
21	77	F	原 発 性 肺 癌
22	70	M	原 発 性 肺 癌
23	76	F	原 発 性 肺 癌
24	84	M	原 発 性 肺 癌
25	71	F	原 発 性 肺 癌
26	74	M	原 発 性 肺 癌
27	73	F	原 発 性 肺 癌
28	82	M	原 発 性 肺 癌
29	84	M	原 発 性 肺 癌
30	91	M	原 発 性 肺 癌
31	80	M	原 発 性 肺 癌
32	52	M	原 発 性 肺 癌
33	63	M	原 発 性 肺 癌
34	59	M	原 発 性 肺 癌
35	64	F	原 発 性 肺 癌
36	52	M	原 発 性 肺 癌
37	63	M	原 発 性 肺 癌
38	74	F	原 発 性 肺 癌
39	71	M	原 発 性 肺 癌
*40	80	M	早 期 胃 癌
*41	82	M	早 期 胃 癌
*42	79	M	早 期 胃 癌
*43	83	M	早 期 胃 癌
*44	82	M	早 期 胃 癌
45	76	M	早 期 胃 癌
46	85	F	早 期 胃 癌
47	82	M	早 期 胃 癌
48	77	M	早 期 胃 癌
49	77	M	早 期 胃 癌
50	60	F	早 期 胃 癌
51	75	M	早 期 胃 癌
52	84	M	早 期 胃 癌
53	77	M	早 期 胃 癌
54	72	M	早 期 胃 癌
55	74	M	早 期 胃 癌
56	67	M	早 期 胃 癌
57	73	M	早 期 胃 癌
58	84	M	早 期 胃 癌
59	69	M	早 期 胃 癌
60	70	M	早 期 胃 癌

No.	年 齢	性 別	病 名
61	77	F	早 期 胃 癌
62	69	M	早 期 胃 癌
63	76	M	早 期 胃 癌
64	73	M	早 期 胃 癌
65	62	F	早 期 胃 癌
66	87	F	早 期 胃 癌
67	70	M	早 期 胃 癌
68	82	M	早 期 胃 癌
69	73	M	早 期 胃 癌
70	85	F	早 期 胃 癌
71	71	M	早 期 胃 癌
72	78	M	早 期 胃 癌
73	59	M	早 期 胃 癌
74	73	M	早 期 胃 癌
75	69	M	早 期 胃 癌
76	57	M	早 期 胃 癌
77	57	M	早 期 胃 癌
78	61	M	早 期 胃 癌
79	70	M	早 期 胃 癌
80	73	M	早 期 胃 癌
*81	89	M	進 行 胃 癌
82	84	M	進 行 胃 癌
83	77	F	進 行 胃 癌
84	86	M	進 行 胃 癌
85	30	M	進 行 胃 癌
86	50	M	胃 MALToma
87	71	F	早 期 食 道 癌
88	81	M	早 期 食 道 癌
89	82	M	早 期 食 道 癌
90	76	M	早 期 食 道 癌
91	73	F	早 期 食 道 癌
92	71	F	早 期 食 道 癌
93	79	M	早 期 食 道 癌
94	63	M	早 期 食 道 癌
*95	79	M	進 行 食 道 癌
96	77	M	早 期 直 腸 癌
97	64	F	早 期 直 腸 癌
98	68	F	早 期 直 腸 癌
99	54	F	早 期 直 腸 癌
100	64	M	早 期 直 腸 癌
101	59	F	早 期 直 腸 癌
*102	81	M	進 行 直 腸 癌
103	77	F	進 行 直 腸 癌
104	63	M	進 行 直 腸 癌
105	59	M	進 行 直 腸 癌
106	69	M	進 行 直 腸 癌
107	57	M	進 行 直 腸 癌
108	68	F	進 行 直 腸 癌
109	78	M	進 行 直 腸 癌
*110	83	F	早 期 結 腸 癌
*111	80	M	早 期 結 腸 癌
112	70	M	早 期 結 腸 癌
113	71	F	早 期 結 腸 癌
114	75	M	早 期 結 腸 癌
115	57	M	早 期 結 腸 癌
116	77	M	早 期 結 腸 癌
117	65	F	早 期 結 腸 癌
118	85	M	早 期 結 腸 癌
119	72	M	早 期 結 腸 癌
120	71	F	早 期 結 腸 癌

No.	年 齡	性 別	病 名
121	85	F	早 期 結 腸 癌
122	76	F	早 期 結 腸 癌
123	74	F	早 期 結 腸 癌
124	72	M	早 期 結 腸 癌
125	63	M	早 期 結 腸 癌
126	66	M	早 期 結 腸 癌
127	50	M	早 期 結 腸 癌
128	75	M	早 期 結 腸 癌
129	77	M	早 期 結 腸 癌
130	46	F	早 期 結 腸 癌
131	62	F	早 期 結 腸 癌
132	51	F	早 期 結 腸 癌
133	72	M	早 期 結 腸 癌
134	71	M	早 期 結 腸 癌
135	77	M	早 期 結 腸 癌
136	77	F	早 期 結 腸 癌
137	81	M	早 期 結 腸 癌
138	63	F	早 期 結 腸 癌
139	70	F	早 期 結 腸 癌
140	80	M	早 期 結 腸 癌
141	66	F	早 期 結 腸 癌
142	73	M	早 期 結 腸 癌
143	58	M	早 期 結 腸 癌
144	62	M	早 期 結 腸 癌
145	80	M	早 期 結 腸 癌
146	43	M	早 期 結 腸 癌
147	68	M	早 期 結 腸 癌
148	71	M	早 期 結 腸 癌
149	69	M	早 期 結 腸 癌
150	65	F	早 期 結 腸 癌
151	70	M	早 期 結 腸 癌
152	75	F	早 期 結 腸 癌
153	61	F	早 期 結 腸 癌
*154	89	F	進 行 結 腸 癌
155	66	F	進 行 結 腸 癌
156	77	M	進 行 結 腸 癌
157	80	F	進 行 結 腸 癌
158	83	F	進 行 結 腸 癌
159	69	F	進 行 結 腸 癌
160	78	F	進 行 結 腸 癌
161	69	F	進 行 結 腸 癌
162	65	F	進 行 結 腸 癌
163	51	F	進 行 結 腸 癌
164	66	M	進 行 結 腸 癌
165	50	F	進 行 結 腸 癌
166	76	F	早 期 大 腸 癌
167	58	M	肝 臟 癌
168	73	F	早 期 乳 癌
*169	87	F	早 期 乳 癌
170	51	F	早 期 乳 癌
171	66	F	早 期 乳 癌
172	69	F	早 期 乳 癌
173	68	F	早 期 乳 癌
174	79	F	早 期 乳 癌
175	70	F	早 期 乳 癌
176	75	F	早 期 乳 癌
177	63	F	早 期 乳 癌
178	71	F	早 期 乳 癌
179	55	F	早 期 乳 癌
180	67	F	早 期 乳 癌

No.	年 齡	性 別	病 名
181	69	F	早 期 乳 癌
182	72	F	早 期 乳 癌
183	49	F	早 期 乳 癌
184	66	F	早 期 乳 癌
185	82	F	早 期 乳 癌
186	87	F	早 期 乳 癌
187	69	F	早 期 乳 癌
188	72	F	早 期 乳 癌
189	71	F	早 期 乳 癌
190	47	F	早 期 乳 癌
191	79	F	早 期 乳 癌
192	40	F	早 期 乳 癌
193	75	F	早 期 乳 癌
194	77	F	早 期 乳 癌
195	66	F	早 期 乳 癌
196	74	F	早 期 乳 癌
197	49	F	早 期 乳 癌
198	59	F	早 期 乳 癌
199	60	F	早 期 乳 癌
200	72	F	早 期 乳 癌
201	78	F	早 期 乳 癌
202	83	F	早 期 乳 癌
203	71	F	早 期 乳 癌
204	71	F	早 期 乳 癌
205	72	F	早 期 乳 癌
206	59	F	早 期 乳 癌
207	50	F	早 期 乳 癌
208	71	F	早 期 乳 癌
209	75	F	早 期 乳 癌
210	75	F	早 期 乳 癌
211	64	F	早 期 乳 癌
212	51	F	早 期 乳 癌
213	73	F	早 期 乳 癌
*214	81	F	進 行 乳 癌
215	75	F	進 行 乳 癌
216	71	F	進 行 乳 癌
217	75	F	進 行 乳 癌
218	70	F	進 行 乳 癌
219	77	F	進 行 乳 癌
220	61	F	進 行 乳 癌
221	69	F	進 行 乳 癌
222	49	F	進 行 乳 癌
223	60	F	進 行 乳 癌
224	65	F	進 行 乳 癌
225	84	F	進 行 乳 癌
226	73	F	進 行 乳 癌
227	70	F	進 行 乳 癌
228	75	F	進 行 乳 癌
229	70	F	進 行 乳 癌
230	74	F	進 行 乳 癌
231	52	F	進 行 乳 癌
232	84	F	進 行 乳 癌
233	70	M	前 立 腺 癌
234	58	M	前 立 腺 癌
235	73	F	臍 體 癌
*236	87	M	多 發 性 骨 髓 腫
*237	80	M	多 發 性 骨 髓 腫

2 被爆者の健康管理に関する調査研究事業

(1) 調査研究の継続実施

現在、以下の研究について継続実施しており、その成果は関係各学会等のほか、随時医学雑誌、会報その他機関紙等に発表している。

- ・睡眠の量および質と各種疾患についての横断ならびに縦断調査
- ・加熱式タバコが喫煙に関連した自覚症状にもたらす影響についての検討
- ・健診結果に基づく癌と生活習慣病に関する横断ならびに後向きコホート調査
- ・高齢者における血清 NT-proBNP 値の意義についての観察研究
- ・高齢者における心血管危険因子と予後についての前向き観察研究
- ・中高年者における非空腹時脂質値に関する横断ならびに後向きコホート調査
- ・糖代謝異常症例における心血管危険因子と予後の検討
- ・被爆者の放射線被曝と動脈硬化ならびに循環器疾患の関連性についての研究
- ・被爆者の放射線被曝と代謝異常と循環器疾患の関連性についての研究

(2) 文献の収集

原子爆弾後障害に関する医学論文及び原爆関係図書等の資料を収集し、その活用を図った。

(3) 第 65 回原子爆弾後障害研究会での発表

令和 7 年 10 月 26 日(日)、広島国際会議場で開催された「第 65 回原子爆弾後障害研究会」において、特別講演、シンポジウムのほか、一般演題 9 題が発表され、本協議会医師がシンポジウム及び一般演題 2 題を発表した。

◎シンポジウム

- ・「被爆 80 年を迎えた広島原対協の役割」 上野義隆

◎一般演題

- ・「被爆者に対するコロナパンデミックの影響：健診データの解析から」 佐々木伸夫 ほか
- ・「被爆者における大腸がん検診成績（第 8 報）」 松本善明 ほか

3 被爆者の援護福祉事業

(1) 被爆者相談

昭和 36 年、原爆被爆者福祉センター開設と同時に相談業務を開始したが、被爆者援護の積極的強化を図るため、昭和 42 年 7 月専任相談員を配置し、昭和 53 年 11 月には、来訪者の便宜を図って一階ロビーに相談コーナーを設置した。

開設以来の相談件数及び令和 7 年度の被爆者相談の状況は下表のとおりである。

開設以後の相談件数

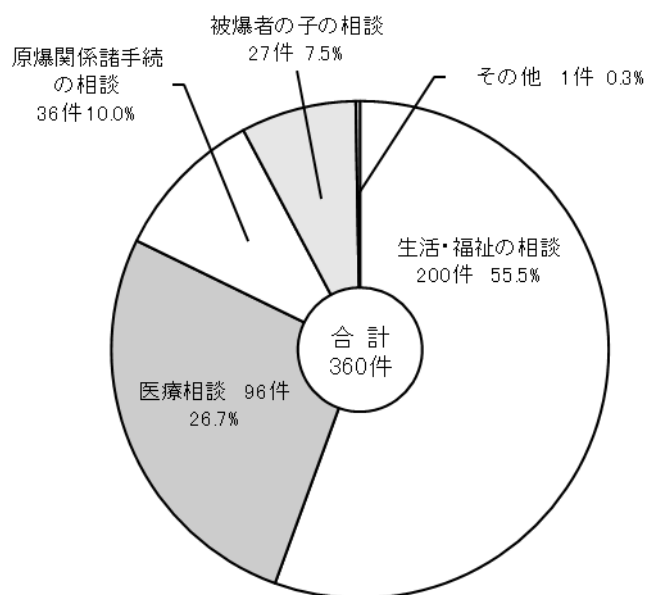
年 度	件数 (件)
昭和 36	51
37	29
38	19
39	30
40	46
41	68
42	240
43	334
44	465
45	626
46	910
47	626
48	507
49	568
50	871
51	1,241
52	1,746
53	2,566
54	3,174
55	2,319
56	3,676
57	3,057
58	2,852
59	2,660
60	3,283
61	3,086
62	3,454
63	5,333

年 度	件数 (件)
平成元	4,530
2	4,074
3	4,183
4	3,525
5	3,451
6	3,482
7	3,512
8	3,576
9	3,393
10	3,758
11	2,911
12	3,414
13	2,817
14	2,572
15	2,522
16	2,455
17	2,084
18	576
19	625
20	566
21	601
22	503
23	414
24	394
25	371
26	323
27	337
28	301

年 度	件数 (件)
29	288
30	263
令和元	233
2	194
3	207

年 度	件数 (件)
令和 4	203
5	216
6	308
7	360

令和 7 年度の被爆者相談の状況



※平成 18 年度から集計方法を変更し、電話による問い合わせ等簡易な相談については、相談件数に計上しないこととした。

(2) 被爆者の援護措置

本協議会の原爆被爆者援護規程に基づき、被爆者の生活及び健康上の相談に応じ、関係行政機関と連携のうえ、必要な指導及び援護の措置を講じている。

この財源は、全国から本協議会に寄せられる寄付金を基にして、次のとおり実施している。

- ア 被 爆 者 援 護 金：被爆者の生活の維持向上を図るため、生活困窮者に月額 10,000 円を支給する。
- イ 被 爆 身 障 者 等 見 舞 金：夏季と年末の年 2 回、被爆身体障害者福祉手当受給者、在宅高齢者福祉手当受給者、小頭症手当受給者、被爆者援護金受給者を対象に見舞金を贈って慰問する。
- ウ 福祉用具貸与・購入費補助：住民税非課税世帯の介護保険福祉用具利用者に補助金を支給する。

エ その他 の 補 助：以上のほか特に援護の必要を認められる者に、その都度経費の一部を補助する。

令和 7 年度の援護費支給状況は下表のとおりである。

令和 7 年度援護費の支給内容

種 別	人 員 (人)	支 給 額 (円)
被爆身体障害者等見舞金	13	100,000
福祉用具貸与・購入費補助	276	2,727,000
合 計	289	2,827,000

4 広島市健康づくりセンターの管理運営事業

令和 4 年 4 月から 5 年間引き続き広島市から指定管理者の指定を受け、協定書等に基づき広島市健康づくりセンターの管理運営と健康教育事業及び子育て支援事業を行った。

(1) 健康教育事業

健康に関する科学的知識の普及啓発を図るため、子どもから高齢者までの各年齢層に応じた様々な健康問題について、最新で正確な情報を分かりやすく提供することにより、日常における健康管理について正しい知識の普及に努めた。

ア 健康科学展示施設の運営

人間のからだの仕組み、病気と健康、歯の健康等について子どもから大人まで興味を持って学習できる拡大模型・映像・グラフィックパネル等の展示を行った。

(7) 年間利用者数 51,806 人

令和 7 年度健康科学館利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
観覧者数	3,325	3,367	4,334	7,736	11,735	4,296	3,088	2,836	2,373	2,369	3,296	3,051	51,806
	大人 (人)	1,759	1,837	2,383	3,748	5,441	2,234	1,708	1,592	1,295	1,302	1,702	26,585
	小人 (人)	512	517	658	1,917	3,200	768	475	368	280	280	464	9,963
	幼児 (人)	1,054	1,013	1,293	2,071	3,094	1,294	905	876	798	787	1,130	15,258
利用者数	トータルヘルシアター (人)	295	281	405	517	276	315	248	254	267	178	266	3,583
	上映回数 (回)	100	96	100	85	38	92	103	96	91	88	88	1,077
	研修会議室 (人)	376	462	637	4,616	8,945	366	405	521	506	299	459	18,027
	視察・見学 (回)				1			1	2	1		1	6
	主催事業 (回)	7	7	13	14	21	8	9	12	11	6	6	122
	共催事業 (回)	1	1						1		1		4
	ビデオ上映 (回)	1	3	5	2	2	2	4	4	1		5	32
	健康ライブラリー (人)	165	196	161	379	632	190	144	155	131	140	169	2,617
	つどいの広場 (人)	1,090	1,058	1,248	1,554	1,782	1,262	1,151	885	843	1,063	1,176	14,137
	大人 (人)	531	547	628	771	879	643	594	451	429	538	587	7,110
	幼児 (人)	559	511	620	783	903	619	557	434	414	525	589	7,027

(イ) 企画展の開催 年 4 回

令和7年度企画展の観覧者数

名 称	期 間	日 数 (日)	観覧者数(人)			
			大人	小人	幼児	合 計
上手に眠ろう！ 素敵な睡眠のおはなし	令和7年3月15日～令和7年7月6日	80	6,630	1,811	3,683	12,124
ただいま参上！忍者でござる 学べ健康の術	令和7年7月19日～11月3日	91	12,131	6,174	6,760	25,065
からだを旅する血液 赤い液体の秘密	令和7年11月8日～令和8年3月8日	93	5,935	1,419	3,561	10,915
食べるを知ろう からだにe a t も！	令和8年3月14日～令和8年7月5日	15	1,033	370	609	2,012
合 計		279	25,729	9,774	14,613	50,116

※「開催期間中」の年度内開館日数及び観覧者数を集計したもの

(ウ) パネル展 年 12 回

イ 健康ライブラリーの運営

健康に関する最新の健康情報を提供した。

ウ 健康に関する教育研修の実施

- ・主催による研修会・イベント 年 59 回 参加者 2,707 人
- ・他の関係機関との共催による研修会 年 4 回 参加者 91 人

エ ボランティア（ヘルスサポーター）の育成・活動事業

- ・ボランティアの養成講座（6 課程） 年 1 回
- ・ボランティアの育成講座 年 3 回
- ・ボランティアの活動事業 年 445 回

オ 広報活動（TV・ラジオ・情報誌取材等） 開催数 125 回

カ 展示物・資料等貸出 8 回

(2) 子育て支援事業

ア ファミリー・サポート・センターの運営

保護者の都合による一時的なこどもの預かり、子育ての悩みなどに対応するため、ファミリー・サポート・センター（地域において子育ての援助活動を行う者と援助を受けたい者からなる会員組織）を設置し、会員同士の子育てに関する支援機能の充実を図った。

(7) 会員の募集・登録など会員組織の管理運営

会員数 2,149 人（提供会員：263 人 依頼会員：1,866 人 両方会員：20 人）

【令和8年3月31日現在】

(4) 援助活動の調整

マッチング件数 303 件

- (ウ) 提供会員登録講習会（援助活動に必要な知識の普及） （年 2 回 6 月・10 月）
- (エ) 会員同士の交流会 1 回
- (オ) 会員講習会 3 回
- (カ) 機関誌の発行 1 回

イ つどいの広場の運営

子育て家庭の親と子どもが気軽につどい、育児相談などを行う常設の場を設置することにより、子育ての負担感の緩和や地域の子育て支援の充実を図った。

- (ア) 常設のつどいの場の提供
- (イ) 子育てに関する相談援助
- (ウ) 子育て関連情報の提供
- (エ) 子育て等に関する講習会の開催 年 27 回
- (オ) 利用者数 14,137 人（大人 7,110 人 幼児 7,027 人）

ウ パパとママの育児教室の運営

夫婦が協力して子育てを行うために、育児における夫婦の役割や育児全般について講義・実習を行い、家庭における育児能力の向上を図った。

プレパパママ育児スクール 年 34 回、参加者 1,802 人

5 検査診療及び人間ドック健診等の収益事業

- (1) 被爆者や市民の健康診断の結果、悪性疾患等が疑われた場合には、確定診断や病期判定のために詳細な検査（C T・MR I・内視鏡・超音波検査等）を行い、治療が必要な場合には、外部医療機関等との連携により最善の方策を進めた。

また、広島市医師会からの依頼による生体検査（C T・MR I・内視鏡検査・X線撮影等）を行い、積極的に外部医療機関との協力を推進した。

- (2) 健康保険組合・事業所・個人からの依頼による人間ドック健診、生活習慣病予防健診、事業所健診等の健診を実施した。健診結果に基づいて生活習慣の見直し等を指導し、病気の発症を未然に防ぐとともに、疾病を早期に発見し、早期治療ができるように健診活動を行った。

＜実施件数＞	人間ドック健診	1,775 件
	生活習慣病予防健診（協会けんぽ）	3,327 件
	事業所健診	3,618 件
	ストレスチェック	834 件

6 放射線被曝者医療の国際協力事業への協力

- (1) 放射線被曝者医療国際協力推進協議会への協力

被爆地広島における放射線被曝者医療の経験とその蓄積を広く世界各地の放射線被曝者治療に役立てようと、平成 3 年 4 月に発足した「放射線被曝者医療国際協力推進協議会（HICARE）」の主要推進団体として、医師等の受入（令和 7 年度は、6 回にわたり 25 名の医師等の医療研修）を積極的に行った。

また、令和 8 年 2 月 8 日、広島国際会議場において、「被爆 80 年・HICARE 設立 35 年記念国際シンポジウム」が開催され、本協議会医師がパネリストを務めた。

テーマ 「被爆 80 年ー広島における被爆者健診のあゆみと継承」

上野義隆 健康管理・増進センター所長

(2) 来日原爆被爆者の健康診断、医療相談等の実施

国外に居住する被爆者が来日の際、健康診断および医療相談等を実施するとともに、健康管理手当申請等の相談にも応じるなど、在外被爆者への援助を引き続き行った。

7 令和 7 年研究業績

(1) 講演会等

第 261 回 広島大学第一内科開業医部会（火曜会）学術講演会（3 月 18 日、広島市）

・上野義隆：外来で診る潰瘍性大腸炎

第 66 回 日本人間ドック・予防医療学会 ランチョンセミナー（8 月 22 日、京都府）

・上野義隆：健診エコーでつなぐ脂肪肝ケアー沈黙の臓器に挑む地域連携ー

第 65 回 原子爆弾後障害研究会 シンポジウム（10 月 26 日、広島市）

・上野義隆：被爆 80 年を迎えた広島原対協の役割

第 65 回 原子爆弾後障害研究会 （10 月 26 日、広島市）

・佐々木伸夫、松本善明、小島純、平野千尋、北台英里佳、石田啓、上野義隆：被爆者に対するコロナパンデミックの影響：健診データの解析から

・松本善明、北台英里佳、平野千尋、小島純、石田啓、佐々木伸夫、上野義隆：被爆者における大腸がん検診成績（第 8 報）

令和 7 年度 難病後援会・相談会（11 月 10 日、広島市）

・上野義隆：潰瘍性大腸炎の理解と最新治療について

(2) 論文

- ・ Sasaki N, Ueno Y, Ozono R, Nakano Y, Higashi Y. Insulin resistance in adipose tissue and fatty liver, but not fat mass, are involved in worsening glycaemic status: The Hiroshima study on glucose metabolism and cardiovascular diseases. *Diabetes Obes Metab.* 2025 Jun;27(6):3025-3035. doi: 10.1111/dom.16307.
- ・ Sasaki N, Ueno Y, Ozono R, Nakano Y, Higashi Y. Association between liver fibrosis, plasma volume status, and cardiovascular mortality: The Hiroshima Study on Glucose Metabolism and Cardiovascular Diseases. *Eur J Heart Fail.* 2025 Jun;27(6):1016-1024. doi: 10.1002/ejhf.3677.
- ・ Sasaki N, Nakano Y, Higashi Y. Reply to the letter regarding the article 'Association between liver fibrosis, plasma volume status, and cardiovascular mortality: The Hiroshima Study on Glucose Metabolism and Cardiovascular Diseases'. *Eur J Heart Fail.* 2025 Jul;27(7):1365-1366. doi: 10.1002/ejhf.3721.

(4) その他

第 65 回 原子爆弾後障害研究会 特別講演「広島原子爆弾によってつくり出された非人道的傷痕」（10 月 26 日、広島市）

・上野義隆：座長

Ⅶ 資 料

1 年度別被爆者数（広島市及び広島県）

広島市「原爆被爆者対策事業概要」より

（各年度末、単位：人）

年 度	広 島 市	広 島 県	合 計
昭和 32	74,610	32,342	106,952
33	79,400	36,531	115,931
34	82,476	38,611	121,087
35	82,831	43,713	126,544
36	87,752	48,716	136,468
37	92,796	51,153	143,949
38	93,608	51,014	144,622
39	93,393	53,113	146,506
40	92,911	57,204	150,115
41	95,627	64,768	160,395
42	94,975	71,574	166,549
43	92,921	75,987	168,908
44	91,389	77,442	168,831
45	90,336	81,233	171,569
46	92,090	80,881	172,971
47	108,764	66,812	175,576
48	108,690	66,624	175,314
49	114,411	62,874	177,285
50	114,542	65,219	179,761
51	113,384	66,253	179,637
52	112,738	66,699	179,437
53	111,811	67,228	179,039
54	110,717	67,799	178,516
55	109,612	68,356	177,968
56	108,870	68,211	177,081
57	108,208	68,208	176,416
58	107,093	67,550	174,643
59	113,885	59,322	173,207
60	112,871	58,856	171,727
61	111,433	58,121	169,554
62	110,392	57,580	167,972
63	109,118	57,046	166,164
平成元	107,459	56,250	163,709
2	105,599	55,579	161,178
3	103,818	54,889	158,707
4	101,939	53,958	155,897
5	100,188	52,851	153,039
6	98,473	51,844	150,317
7	96,929	50,766	147,695
8	95,260	49,630	144,890
9	93,637	48,577	142,214
10	91,940	47,173	139,113
11	90,184	45,451	135,635
12	88,592	44,367	132,959
13	86,779	43,246	130,025
14	85,065	41,995	127,060
15	83,732	40,739	124,471
16	81,649	39,427	121,076
17	80,509	37,381	117,890
18	78,111	35,987	114,098
19	75,642	34,561	110,203
20	73,388	33,027	106,415
21	71,194	31,619	102,813
22	68,886	30,498	99,384
23	66,660	28,926	95,586
24	64,302	27,388	91,690

年 度	広 島 市	広 島 県	合 計
平成 25	61,666	25,954	87,620
26	58,933	24,434	83,367
27	56,174	22,818	78,992
28	53,340	21,286	74,626
29	50,384	19,836	70,220
30	47,632	18,393	66,025
令和元	44,836	16,959	61,795
2	42,191	15,616	57,807
3	39,590	14,375	53,965
4	39,374	14,086	53,460
5	37,818	13,457	51,275
6	35,730	12,580	48,310
7	33,232	11,413	44,645

2 年賀寄附金配分金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	配分金額
昭和 34 35	原爆被爆者福祉センター本館建設	55,844,000	52,300,000
38	健診車、原爆被爆者福祉センター暖房設備設置	27,379,000	16,850,000
41	原爆被爆者福祉センター増築	92,100,000	41,000,000
43	テレビレントゲン装置、オートアナライザー設置	30,490,000	20,000,000
45	原爆被爆者福祉センター増改築	56,548,000	25,000,000
47	ハイゼルマーク X、コールターカウンター設置	59,000,000	29,000,000
49	コールターカウンター搭載健診車(1号車)購入 パンスパイロコンピュータ設置	39,828,000	24,000,000
51	胃検診用 X 線テレビジョン装置 コールターカウンター設置	43,900,000	23,000,000
53	X 線テレビジョン装置 胸部一般撮影用装置設備	37,600,000	23,000,000
55	自動血球分類装置(diff-3)	50,000,000	28,000,000
57	コールターカウンター搭載健診車(2号車)購入	42,800,000	28,000,000
59	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入	42,920,000	30,000,000
61	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-501) 胃透視用 X 線テレビ装置設備	76,000,000	40,000,000
63	コンピューテッドラジオグラフィ(CR-201) CR 専用 X 線透視撮影台設備 CR 用光ディスク画像ファイル装置設備	156,000,000	70,000,000
平成 2	超電導 MRI 装置設置	83,430,000	50,000,000
4	コールターカウンター搭載健診車(2号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR7501(CR-501 更新)	78,000,000	46,000,000
6	コールターカウンター搭載健診車(1号車更新)購入 コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-201 更新) 光ディスク画像ファイル装置 集合型光ディスク画像ファイル装置	134,000,000	67,000,000
8	CR 用 X 線透視撮影装置 MRI 装置のバージョンアップ	92,000,000	36,000,000
10	コンピューテッドラジオグラフィ CR9000(CR-7000 更新) 心電図データマネジメントシステム	73,500,000	25,725,000
12	MRI 装置(更新)	144,375,000	10,000,000
14	自動血球計算装置(更新)	21,315,000	7,460,000
16	全自動血球計算装置搭載健診車(2号車更新)	33,180,000	10,000,000
18	全自動血球計算装置搭載健診車(1号車更新)	27,615,000	2,060,000
20	超音波診断装置 (更新)	12,915,000	4,916,000
22	全自動電気泳動装置 (更新)	10,263,235	4,028,235
合 計		1,521,002,235	713,339,235

3 日本自転車振興会補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事・用地買収整備	46,885,000	29,150,000
42	原爆被爆者健康管理設備等の整備 健康診断用自動車整備・X線装置整備	5,565,000	2,550,000
43	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房設備工事・倉庫建設工事	15,401,000	5,430,000
平成元	原爆被爆者の診療機器の整備 CR専用X線透視撮影台 心電図自動解析ファイリング装置	74,469,000	37,234,500
3	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置・超音波診断装置	29,272,000	14,636,000
5	原爆症診療機器の整備 胃集検用X線デジタルラジオグラフィ装置	65,000,000	32,500,000
7	原爆症診療機器の整備 CR用X線透視撮影装置	36,000,000	14,420,000
9	原爆症診療機器の整備 X線骨密度測定装置	24,675,000	6,825,000
11	原爆症診療機器の整備 X線テレビ装置(DRシステム)	32,025,000	14,700,000
13	原爆症診療機器の整備 超音波診断装置配慮	16,695,000	8,242,000
合 計		345,987,000	165,687,500

4 車両競技公益資金記念財団補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 53	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室の増改築、消防設備・機械室の整備 厨房・静養室・外壁の補修工事	22,550,000	7,560,000
62	原爆被爆者有福温泉療養研究所 ロビー事務室改修工事、食堂拡張及び内装工事 アルミサッシ取替及び木製建具工事等	21,390,000	14,260,000
平成 4	原爆被爆者有福温泉療養研究所 客室内装工事、アルミサッシ取替工事 外壁塗装及びボイラー・貯水槽更新等	45,629,000	29,520,000
9	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事、リネン室防水工事	36,236,500	15,300,000
10	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事	20,454,000	10,220,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	7,920,000
合 計		162,114,500	84,780,000

5 広島県補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,906,964	800,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	800,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	800,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	800,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	800,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	800,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	800,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,300,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,500,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,500,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,500,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,500,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,500,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,500,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,500,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,500,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,500,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,500,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,500,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,500,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,500,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,500,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,500,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,500,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,500,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,366,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,146,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,123,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	694,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	951,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,148,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	1,033,000
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
合 計		411,917,521	101,303,000

6 広島市補助金による実施事業

(単位：円)

年 度	事 業 名	事業費総額	補 助 金
昭和 41	被爆者援護福祉事業	2,903,964	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 建設工事	46,885,000	9,727,000
42	被爆者援護福祉事業	1,998,945	1,000,000
43	被爆者援護福祉事業	2,900,650	1,000,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 暖房・倉庫建設工事	15,401,000	3,000,000
44	被爆者援護福祉事業	2,957,580	1,000,000
45	被爆者援護福祉事業	3,010,450	1,000,000
46	被爆者援護福祉事業	2,753,710	1,000,000
47	被爆者援護福祉事業	3,209,700	1,000,000
48	被爆者援護福祉事業	4,227,500	1,500,000
49	被爆者援護福祉事業	4,028,242	1,500,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 冷暖房取付工事	6,350,000	3,000,000
50	被爆者援護福祉事業	5,568,000	1,700,000
51	被爆者援護福祉事業	5,260,000	1,700,000
52	被爆者援護福祉事業	5,372,000	1,700,000
53	被爆者援護福祉事業	6,188,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室増改築工事等	22,550,000	6,000,000
54	被爆者援護福祉事業	6,494,000	1,700,000
55	被爆者援護福祉事業	6,335,000	1,700,000
56	被爆者援護福祉事業	6,447,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水改修工事等	15,100,000	6,040,000
57	被爆者援護福祉事業	5,660,000	1,700,000
58	被爆者援護福祉事業	6,011,000	1,700,000
59	被爆者援護福祉事業	5,467,000	1,700,000
60	被爆者援護福祉事業	5,541,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋根防水工事等	13,400,000	4,280,000
61	被爆者援護福祉事業	5,511,000	1,700,000
62	被爆者援護福祉事業	6,145,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 食堂拡張工事等	21,390,000	2,852,000
63	被爆者援護福祉事業	6,230,000	1,700,000
平成元	被爆者援護福祉事業	6,473,000	1,700,000
2	被爆者援護福祉事業	6,621,000	1,700,000
3	被爆者援護福祉事業	6,775,000	1,700,000
4	被爆者援護福祉事業	6,914,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 内装工事等	45,629,000	6,442,000
5	被爆者援護福祉事業	6,043,000	1,700,000
6	被爆者援護福祉事業	4,364,000	1,700,000
7	被爆者援護福祉事業	4,717,780	1,700,000
8	被爆者援護福祉事業	4,571,000	1,700,000
9	被爆者援護福祉事業	4,637,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 浴室・浴槽改修工事等	36,236,500	7,800,000
10	被爆者援護福祉事業	4,771,000	1,700,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 屋上陸屋根防水工事等	20,454,000	4,093,000
11	被爆者援護福祉事業	4,026,000	1,530,000
12	被爆者援護福祉事業	3,587,000	1,530,000
13	被爆者援護福祉事業	2,023,000	1,329,000
14	被爆者援護福祉事業	2,272,000	1,300,000
	原爆被爆者有福温泉療養研究所 空調設備更新工事等	15,823,500	5,279,000
15	被爆者援護福祉事業	2,612,000	1,300,000
16	被爆者援護福祉事業	3,099,000	715,520
19	原爆被爆者有福温泉療養研究所 外壁・厨房等改修工事	15,855,000	2,156,000
合 計		458,799,521	119,673,520

7 日本高等学校教職員組合等からの寄付金

(単位：円)

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
昭和 38	30,000	180,638	210,638
39	37,298	158,881	196,179
40	－	485,027	485,027
41	30,000	385,603	415,603
42	－	503,278	503,278
43	97,075	354,883	451,958
44	72,916	556,012	628,928
45	276,389	220,175	496,564
46	176,664	435,108	611,772
47	475,358	533,674	1,009,032
48	630,433	358,972	989,405
49	876,166	432,000	1,308,166
50	1,008,761	450,982	1,459,743
51	1,091,674	290,000	1,381,674
52	1,212,000	235,500	1,447,500
53	1,224,093	943,000	2,167,093
54	1,464,294	150,000	1,614,294
55	1,444,053	380,000	1,824,053
56	1,316,185	85,000	1,401,185
57	1,514,511	580,070	2,094,581
58	1,583,894	308,000	1,891,894
59	1,532,635	342,000	1,874,635
60	1,505,193	103,000	1,608,193
61	1,468,864	1,710,500	3,179,364
62	1,496,799	88,400	1,585,199
63	1,514,795	63,755	1,578,550
平成元	1,574,770	305,000	1,879,770
2	1,501,600	415,000	1,916,600
3	1,586,500	5,000	1,591,500
4	1,617,000	0	1,617,000
5	1,487,000	0	1,487,000
6	1,425,000	510,000	1,935,000
7	1,480,000	0	1,480,000
8	1,525,000	470,000	1,995,000
9	1,400,000	1,800,000	3,200,000
10	1,435,000	0	1,435,000
11	1,345,000	250,000	1,595,000
12	1,300,000	0	1,300,000
13	1,270,000	0	1,270,000

年 度	日本高等学校教職員組合	個人・その他の団体	合 計
14	1,160,000	50,000	1,210,000
15	1,110,000	5,025,000	6,135,000
16	970,000	0	970,000
17	980,000	301,033	1,281,033
18	930,000	0	930,000
19	870,000	0	870,000
20	850,000	0	850,000
21	830,000	0	830,000
22	813,080	0	813,080
23	765,000	0	765,000
24	785,000	0	785,000
25	810,000	0	810,000
26	835,000	0	835,000
27	850,000	0	850,000
28	800,000	0	800,000
29	752,200	50,000	802,200
30	700,000	0	700,000
令和元	620,000	0	620,000
2	655,000	0	655,000
3	630,000	0	630,000
4	600,000	0	600,000
5	540,000	0	540,000
6	540,000	0	540,000
7	460,000	0	460,000
合計	59,882,200	19,515,491	79,397,691

8 全国から寄せられた寄付金

(資料7再掲、敬称略)

年 度	合 計 金 額	件数	寄 付 者 氏 名
昭和 29	239,486 円	39 件	埼玉県比企郡自然科学研究所, 中和孝三, 若月一夫, 広島ロータリークラブ, 無名子, 斉藤金三, 東京都渋谷区議員団, サンエッチ外, 中井一夫, 中島茂, 無名子, NHK 一般募金, 大阪市立松宮小学校同窓会, 清水達造, 伊勢谷洋一, 増川義信, 広島美術人展, 岸英一, 毛利典攬, 米子市口陰田婦人会並青年団, 豊田郡大草村青年団○支部代表者吉田宣徳, 日本国民健康会長和気清喬, 吉本美枝子, 中野正義, 匿名, 中国電波管理局組合支部長, 石田ハル, 一凡人, 沢千代子, 田川一男・順二, 傷痍軍人会・長門労働組合連合会・長門連合青年会, 原爆障害者救援会会員一同, 一海上自衛隊員, 匿名人, 池田稔, 宮原高等学校弁論部, セタヤ・ビカッシュ・バーナジエ, 広島県博愛協議会中島茂, 池田稔
30	419,804 円	38 件	池田稔, 広島ライオンズクラブ会長寺田豊, 湯浅傳, 池田稔, 養○豊子外 24 名, 青山晴男, 佐々木一, 岩手小学校五年一組 34 名一同, アイラ・レ・モーリス, 広島県博愛協議会中島茂, 土岡博一, 能代市職域文化団体連絡協議会笹村堅一郎, 匿名, 奥田洋子, 法政大学県人会, 京都子供カリタス会, 一高校生, 朝枝章, 広島平和美術展事務局, 大阪 T 生, 匿名, 銀座東宝社長, 呉市宮原高校卒業生ブラタナス会代表竹中三郎, 原水爆禁止小金井準備会長鈴木誠一, 海老名町青年団, 斉藤嘉輔・明子, 小倉市 I 子, 藤岡女子高等学校生徒会, ブラジル・マルネイラセーマ町より, 原田久, 高知県安藝郡教員組合, 原田東岷, ポートドーバーライオンズ倶楽部, セントピーターライオンズ倶楽部, 原爆惨禍相起協議会長遠藤南史, 美○ミシン工業株式会社, 近藤ミシン株式会社, 明治大学広島県人会
31	3,230,819 円	98 件	原爆惨禍想起協議会長遠藤南史, 島田平和の集い準備会島田市長, 北海道農民同盟青年部, 富山市奥田枝下婦人会, 島田市クリスタルクラブ, 森廉, 下呂平和を護る会準備会, 柳川小学校六年一組一同, 無名, 浜崎谷松, 落合一男, 藤村進, マレー ヤング, 古谷良念, 無名子, 海上自衛隊○○隊十五分隊, 安芸教区仏青連協議会長○重一教, 渡辺弘子, 大阪住友金属工業会社外十二社, 東海田町青年団寺迫支部代表田原○男, 医師会卒業者無名氏, 横浜市新生活運動婦人○○会一同, 福家俊明, 野溝○人, ある少女, 森数美, 一女生, 大阪東区一高校女学生, 高橋信雄, 徳原芳子, 遠藤南史, 小林蘊徹, 梅林とし子, 榎原彰夫, 無名氏, 八・一五終戦記念平和の夕世話人会代表堀口恒次, 無名氏, ○○○○○○○○○, 山口県豊田町殿居地区婦人会長岡崎あつ子, 服部保外十四名, 全国連合竹和会, 賀茂郡造賀村婦人会代表辻川静枝, 中山教進・○○○・国定典明, 神阪○子, 国鉄幡生工場原爆罹災者救援会小西旭, 山崎常雄外九名, 中学一少女, 東淀川平和の夕実行委員会, 古谷良念, 尾久母の会南支部・仲支部・東支部一同, 兄妹三人無名子, 茶谷京子, 田中卓爾, 広本露子, 大谷高校二年生, 高橋又一, 鉄砲町一吉方一, 元宇品小学校五年生一同, 大阪市内某氏, 菊池京子, 一中学校学級一同, 大原乙彦, 広島市原子力平和利用博覧会長渡辺忠雄, 井口愛之助, 大森植松, 柳田孝, 東京都共同募金会長藤山愛一郎, 兵庫県共同募金会長岡崎忠, 無名士盲人, 茨木県取手第○○学校生徒会長大久保征夫, 北米加州パークレー広島県人会長大館誓一, 大阪某氏, 無名氏, ○○孟範, 遠藤南史, 身体障害者厚明会長, 中国訪日京劇団代表・朝日新聞社, 井上敏子, 秋本庸夫, 山田千恵子, 大歳盛明, 太陽海運株式会社, 長井あきよ, 山田千恵子, 三人の友達, 成名小学校・鴨川中学校, 維信高等学校二年 D 組ひいらぎグループ, 広島県司法書士会員総会出席者有志, 全国司法職員労働組合広島支部, 宮崎迫彦, 安永隆夫, 金沢薫台高等学校二年修学旅行団, 羽昨高等学校生徒会, アーヴィンクンツ夫妻, 高木俊子, 羽田○良正, 益村弥太郎, クロンドチーク
32	149,684 円	21 件	大森シゲ, 山田○○○○, 井木康秀, 赤川正章, 匿名氏, 山田千恵子, 斉藤明子, 読売新聞社新聞○○委員会, 取石小学校児童会, 金清公夫, 一青年, 宮原太郎, 下広井原青年団小川博○外十三名, 匿名, 栗栖勝, 久留米市匿名, 法政大学建築科一同, 城東中学校生徒会, 上田柳吉, 吉坂中学校原田耕滋外十四名, フレデークイン
33	293,316 円	50 件	日本原水爆被災者救援会代表篠原つる子, 増田呉省, Medizinische Klinik, 朝山カツノ, 江田島自衛隊○○学校生徒, ○○高校三年図書部・○○君子, 匿名, ドイツ医学週間法出版社, 東京田無町婦人連絡協議会, シチズン時計工場内文化部映画班, 田口正治, 大竹市小方中学生徒会, 一無名士, 清香仏教青年会, 名田典子, 岩国市立東小学校五年二組一同, 橋詰博, 三立製菓株式会社・鈴木自動車工業会・○○トマト会外三社, 吉原信之, 斉藤明子, 漫画協団代表筑摩鉄平, 中豊純子・實二, 秋田県沖田○小学校五年生一同, 京都市一中学生, 第一製菓・三共○○・オリンパス光学・カミシマ製作社・小野田セメント・沖電気工業会社・三菱電気・東芝商事, 高校生二名, 梅津町青年団西江支部, 横山妙, 田口正治, ○○無名氏, 大洲病院一同, 築地子供会,

年 度	合 計 金 額	件数	寄 付 者 氏 名
34	575,892 円	32 件	東町連合子供クラブ一同、川崎市東芝○附工、段原女子女学園中学一年六組一同外匿名三、野口あき、東京電気大学○○学校・浜田加代子・土肥邦雄・三村豊・タクシー運転手・松下和義・山田洋士・東京忍岡高校生・○川○○、屋代小・中学校・戸倉中学校、匿名、広島県○○○・吉本勝・浜田カヨ子、山田千恵子、高橋昭博、杉渕徳治、山田千恵子、河野次郎・県教職組合・乃美小学校 6 年○組、○尾富美子、浜田加代子、土肥邦雄、三村典子、松下和義
35	78,957 円	17 件	丸本杏男、山田千恵子、日本むつみ会、山田千恵子、奈良県一○人、山田千恵子、吉岡隆夫、神戸市親和高校グループ、日本むつみ会老生、山田千恵子、金沢兼之助、東京福祉協会理事小祝昌弘、四人の女月光仮面、一読者、愛知トマト KK 他 7 社、日本むつみ会老生、(匿名)、大阪一女性、匿名者、田口正治、グレチエン・タットヒル、古賀和紀、グレチエン・タットヒル、金光教群馬県西部連合会、藤村弘、全日労組合広島地方会議組合員、篠村つる子、香川県千羽鶴運動実行委員会、イタリア生、(匿名)、浦辺和美外三名、徳竹道生外一名
36	1,935,402 円	30 件	広島予研支所匿名、広島予研支所匿名、アーサー・マリー・アイビンダー、赤松鉄也、赤松鉄也、匿名、篠村つる子、金子健次郎、大阪 K.E.氏、匿名、匿名、山田千恵子、山田千恵子、森新一、山田千恵子、原水爆禁止大川市協議会長古賀清治、広島県競輪選手会
37	140,129 円	19 件	紺野光吉、紺野光吉、日本原水爆被災者救援協会代表富井令子、石田久子、山田キク、関つる、山蔭貫之、関つる、紺野光吉、日本電装労働組合、ルイス・カヴレル、匿名、匿名 2 名、全大丸労働組合神戸支部、全国財務労働組合、紺野光吉、原田東岷、安佐郡長束地区婦人会会長原田静枝、寺本典夫、佐藤富子、土井憲策、山崎君子、愛知県立明和高等学校定時制夜間課程職員生徒一同、石川県立工業高等学校デザイン科有志、紺野光吉、原爆傷害調査委員会代表ジョージ・B・ダーリング、紺野光吉、柿原幸二、小崎芳子、紺野光吉
38	210,638 円	23 件	紺野光吉・無名氏、三次中学校、三次町本通一子供会、紺野光吉・匿名、山田千恵子、小川亀三、日○一社員外三氏匿名、紺野光吉・m.y.、清水芳郎、駒込学園一同、呉造船労組宮原地区家族会、日本司法書士会連合会総会出席者、東大教育学部高校一年 A 組、板木節夫、藤田正行、河原卓一、安永茂雄、日下部春一、岩滝宗雄
39	196,179 円	18 件	神戸市育英高等学校一年十組、中村勝弥、奥田光太郎、空調タイムス社代表取締役杉本英太郎、大歳盛明、志村寛一、ノートルダム清心高等学校三年生一同、山田千恵子、山田千恵子、徳島県民主社会主義青年連合組織部長岡内淑夫、般若太郎外七口、岡本稔雄・吉田町役場職員組合、村上春雄、ロスアンゼルス・シカゴミヤコ観光団、日本高等学校教職員組合、中川シゲノ、山口親愛教会 S 氏、(匿名)、本間妙海、匿名、村上和輝、日赤東京都支部寄託、読売新聞社寄託
40	485,027 円	23 件	読売新聞社寄託 2 名、日赤東京都支部寄託、匿名、山田千恵子、中国新聞社会事業団寄託、政治経済研究会代表番匠朝昭、日本高等学校教職員組合代表磯本達則、中国新聞社会事業団寄託、土手和海外二名、原水爆禁止門○市協議会会長東重太郎、金沢なでしこ会三人、金光教広島県連合会外二件、岐阜県立中津高等学校職員二学年一同、黒瀬町上黒瀬小学校五年生一同、福島県石川実務学園長外三ヶ所、朝日新聞山口支局寄託、石川県立金沢高等学校二四ホーム一同、大○七
41	415,603 円	18 件	神戸新聞厚生事業団寄託、石川県金沢高等学校修学旅行団、パリ大学医学部ウェーグマン教授夫妻、中川製袋化工 KK35 周年記念会招待者一同、○生製作所労組、渋谷区代々木善明会教団、全国自動車産業労働組合連合会東海支部、山形県 16 歳学生、中島マチ、豊島区 S.K、こばやし、塚本利光、大豊○樹、尾川昭外七ヶ所、比和中学校福田部落会生徒、キリンビール労働組合広島工場支部長○○永○○、松岡洋子・岡本・玉置せき、東京電気大学高校普通科二年生一同、日本大学豊山学園友輪会、豊橋市時○○高校二年一組一同、豊川地方労働組合、○田照夫、石本タケノ
42	503,278 円	21 件	喫茶ガーネット、小池静子外二名、県内に住む一女性、三宅千代子、日本高等学校教職員組合中央執行委員長磯本達則、善明会教団東京支部、セント・ジェルジ博士、右田辰雄・原水爆禁止議員連盟外二名、東京電機工業高等学校定時制及全日制生徒○○○キリスト○○○、大阪市旅行クラブ「浪花会」、国際協力及軍備に関するオーストラリアニューージーランド委員会、吉田達雄、安田火災労働組合東京分会青年婦人部一同、土井憲作、南千田ヘルスセンター、山本雅子、矢沢一民、旧普通科神○高等学校一年三組
			川上ナルエ、堤健一郎、徳原スミ子、飯田商店外二者、杉山博康、小松修、神戸外大二部原水禁実行委員会一同、片山茂樹、法眼○外五件、三次市栗原町婦人会外二件、新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶円、読売新聞社寄託、金洞海、山形 KO 東京電機大学高校工業科二学年一同・定時制四年 C 組一同、奈良県青龍寺小西妙淳、全日本印刷工業組合連合会中国地区印刷工業組合協議会広島県印刷工業組合、フランス人シャ

			ンボイゼ, 新田修三, 関川守彦, 下松市私立慈光園長・匿名梓蔭高校
年 度	合 計 金 額	件数	寄 付 者 氏 名
43	451,958 円	20 件	日本高等学校教職員組合, 長崎原子爆弾被爆者対策協議会長諸谷義武, 日本火薬福山工場ダンス同好会一同, 本田英郎, 日本高等学校教職員組合, 大口あさを, 金井政吉, 姫路市匿名, 舟入本町商店街, 広島市の者, 藤井音次郎, 新潟県十日町市原水禁協議会長服部慶圓, 沖一成, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合, 東海大学原子力教室, ビクターオート(株)広島営業所, 酒井幸四郎, 藤井音次郎, 藤井音次郎
44	628,928 円	23 件	香川県高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 藤井音次郎, 水木ナツ, 藤井音次郎, 小島静江, 金井政吉, 入田律子, 舟入本通会, 一老人, 田中茂, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 日本高等学校教職員組合執行委員長古川静夫, 桂雄一, 徳山市蟻の会代表水木敏郎, 鈴川寅二, ヒロスイ株式会社社員加賀愛万・下岡好一・西村浩, 鯉城クラブ, 藤井音次郎, 大園英彦, 藤井音次郎, 小野広秋
45	496,564 円	27 件	藤井音次郎, 友広和夫, 一匿名者, 一匿名者, 金井政吉, 匿名の一少女, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一, 藤井音次郎, 神戸市職青年部神戸市葦合区役所・神戸市生田区役所有志, 堀内登久子, 新潟県十日町市原水爆禁止協議会, 匿名者, 湧井雅晴, 小西清, 高田和典, 法政大学女子高校 1 年 F 組, 岩室久一, 横光利之, 苫小牧西高等学校新聞局, 明大附属中野中学校 2 年生, 藤井音次郎, 一市民, 狩野重治, 藤井音次郎, 岡野チヨノ, 八木千代, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長曾我部忠一
46	611,772 円	19 件	藤井音次郎, 藤井音次郎, 金井政吉, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 柴崎英治, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 三重県立紀南高等学校修学旅行団一同, 藤井音次郎, 今田稔穂, 広島木工製材機械協会, 森崎律子, 藤井音次郎, 広島市匿名氏, 安佐ボール社長武智義則, 広島市無名氏, 藤井音次郎, 藤井音次郎
47	1,009,032 円	20 件	山口大学 YMCA 代表者山崎まり子, 藤井音次郎, 松川宣正, 松川宣正, 広島市 Y 子, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店長小野敏次, 広島市無名氏, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, 新谷五郎, 松坂次男, 藤井音次郎, 原田東岷, 飯田昭二, 藤井音次郎, エア・ポートレーン支配人登勝志, 広島市民無名氏, 福岡県立浮羽高等学校二年五組グループ代表野上美由貴, 岩手県釜石南高等学校社会研究部長佐藤三良, 藤井音次郎
48	989,405 円	13 件	広島木工製材機械協会会長金子堅一, 藤井音次郎, 大高美代, 岡儀造, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長山本弘之, 下田工業株式会社広島支店従業員代表支店長小野敏次, 原水爆禁止十日町市協議会書記長南雲藤平, 藤井音次郎他, 藤井音次郎, 岡正造, 藤井音次郎, 甚兵衛ボールガータスクラブ代表進藤芳樹, 藤井音次郎
49	1,308,166 円	11 件	渡辺ツルコ, 足門ミドリ, 日本高等学校教職員組合, 広島市内原爆被爆者, 原水爆禁止十日町市協議会, 藤井音次郎, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長木山八郎, 奥野ワカヨ, 広島市原爆被爆者, 市山律子, 上山しのぶ
50	1,459,743 円	11 件	坂本悦治, 乙井ミツエ, 愛媛県立南宇和高校生徒会顧問武田裕典, 広島市民被爆無名者, 広島第一劇場代表取締役吉田尚行, 広島木工製材機械協会会長金子堅一, 西部浩子, 日本高等学校教職員組合, 関が原石材労働組合中央執行委員長村瀬秀夫, 初倉利明, 西部浩子
51	1,381,674 円	4 件	広島鉄道管理局広島工場桂哲雄, 河野和夫, 日本高等学校教職員組合, 長崎正明
52	1,447,500 円	7 件	大山ミチ子, 松上年雄, 広島木工製材機械協会, 東京の一学生, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長斉藤啓夫, 清水由紀子, 高橋彰温
53	2,167,093 円	9 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長中川金作, 浜井澄人, 山口能弘, 荒木邦男, 山田春三, 府中農協病院植田繁男, 川村法人
54	1,614,294 円	2 件	日本高等学校教職員組合, 東洋工業 K.K. 監査部主管初倉誠
55	1,824,053 円	4 件	寺岡聖, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 森崎利樹, 藤井幸子
56	1,401,185 円	4 件	高野慶子, 山口大学平和キャラバン隊, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長金橋寿雄, 巖利文
57	2,094,581 円	5 件	日本高等学校教職員組合中央執行委員長服部寛信, 山口大学ユネスコクラブ第 12 回平和キャラバン隊, 花田実男, 栃木県烏山女子高等学校三年一組一同, 大阪産業大学教職員有志によるチャリティーバザー実行委員会
58	1,891,894 円	6 件	大高美代, 京極春子, 山口大学ユネスコクラブ平和キャラバン隊, 原水爆禁止十日町市協議会長松井愛美, ゼンセン同盟十日町職労佐藤敬, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫
59	1,874,635 円	9 件	全日本宗教用具組合連合会, 大高美代, 大熊開市, 日本高等学校教職員組合中央執行委員長森田忠夫, 中野ツルエ, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市
60	1,608,193 円	12 件	大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市, 大熊開市

年 度	合 計 金 額	件数	寄 付 者 氏 名
61	3,179,364 円	11 件	大熊開市, 大熊開市, 松坂次男, 大熊開市, 大高美代, 日本生命中央営業部藤本勇他職員, 一匿名者, 日本高等学校教職員組合, 酒井真司, 山村智寿子, 新中央工業株式会社代表取締役本部長中西忠彦
62	1,585,199 円	5 件	財団法人多山報恩会, 大高美代, さくらタクシー社長藤谷源市, 日本高等学校教職員組合, 匿名者
63	1,578,550 円	6 件	森田長昭, 匿名者, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 紀州アート株式会社, 匿名者
平成元	1,879,770 円	5 件	藤原雄, 広島木工製材機械協会長前田静正, 大高美代, 日本高等学校教職員組合, 柘植正
2	1,916,600 円	5 件	柘植好江, 石田ヒサ子, 藏本淳, 大高美代, 日本高等学校教職員組合
3	1,591,500 円	2 件	大高美代, 日本高等学校教職員組合
4	1,617,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
5	1,487,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
6	1,935,000 円	4 件	日本高等学校教職員組合, 縁生の友の会, 中尾隆, 向井幸枝
7	1,480,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
8	1,995,000 円	6 件	日本高等学校教職員組合, 津川弘道, 田中文枝, 松坂紘一郎, 茅原春夫, 前田千代子
9	3,200,000 円	5 件	日本高等学校教職員組合, 高原義明, 杉本純雄, 伊藤文明, 伊藤千賀子
10	1,435,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
11	1,595,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 原田義弘, 毛利佳代子
12	1,300,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
13	1,270,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
14	1,210,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 藤岡マツエ, 山田ツユ子, 国会職員組合連合会
15	6,135,000 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国原 浩, 国会職員組合連合会
16	970,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
17	1,281,033 円	3 件	日本高等学校教職員組合, 国会職員組合連合会, 第 27 回日本健康増進学会
18	930,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
19	870,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
20	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
21	830,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
22	813,080 円	1 件	日本高等学校教職員組合
23	765,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
24	785,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
25	810,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
26	835,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
27	850,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
28	800,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
29	802,200 円	2 件	日本高等学校教職員組合, 広島市小児科医会長森美喜夫
30	700,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
令和元	620,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
2	655,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
3	630,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
4	600,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
5	540,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
6	540,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合
7	460,000 円	1 件	日本高等学校教職員組合

9 核兵器廃絶・平和建設広島県民会議からの寄贈物品

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
45	毛糸編機 6 台、ラジオ 1 台	292,000
46	カラーテレビ 1 台、長イス 11 脚	237,000
47	フィルム保管庫 5 台	125,000
49	フィルム格納庫 9 台	251,000
50	スロンブエラストグラフ 1 台、毛糸編機 4 台	1,750,000
52	顕微鏡 1 台、毛糸編機 3 台	442,000
53	胃カメラ 1 台	1,210,000
54	気管支ファイバースコープ 1 台	1,300,000
55	眼底カメラ 1 式	1,385,000
56	ガストロファイバースコープ 1 台	1,500,000
57	ガストロファイバースコープ 1 台	1,313,500
58	大腸ファイバースコープ 1 台	1,411,000
59	気管支ファイバースコープ 1 台	1,115,000
60	オートプロジェクター 1 台、内視鏡格納棚 1 台、吸引器 1 台	915,000
61	ガストロファイバースコープ 1 台	1,300,000
62	顕微鏡 2 台	1,009,000
63	超音波診断装置備品	1,044,000
平成元	顕微鏡 1 台	1,510,000
3	全自動身長体重計	708,000
5	体内脂肪計 1 式、吸引器、検眼鏡 1 組、パルスオキシメーター 1 台	958,106
6	体内脂肪計 1 式、インターバル・パワートレーニング・マシン	826,825
7	造影剤遠隔注排装置一式	1,000,000
8	血圧監視装置、視力表照明装置	994,980
9	酸化電位水生成機	875,000
10	ホルター自動連続血圧計、エルゴメーター、マイクロチューブ用遠心機	907,370
12	自動グルコース測定装置	1,500,000
14	上部消化管用スコープ	1,491,000
16	全自動グルコース測定装置	1,250,000
18	内視鏡洗浄器	1,249,500
20	超音波診断装置プローブ 1 台、ゼリーウォーマー 1 台	893,550
22	電子スパイロメータ	999,600
24	多機能心電計	997,500
26	ホルター自動連続血圧計 1 式、電動昇降台 2 式、3 クランクベッド プレグラースーパーマットレスベッドサイドレール 1 式	999,994
28	内視鏡洗浄消毒装置 3 台	1,499,040
30	全自動血圧計診之助 S l i m 3 台、ノンコンタクトタイプトノメーター 1 台	1,499,904
令和 2	アトム診療ユニット EU-70 α 湿式クスコウォーマー付/洗浄装置付 1 台、全自動身長体重計 1 台	1,499,300
4	内視鏡洗浄消毒装置 3 台	1,500,000
6	内視鏡保管庫 1 式、ギャッチベッド 2 式、生体情報モニタ 1 式	1,472,900
合 計		41,232,069

※ ただし、平成 6 年度以降は、核兵器廃絶・平和建設広島県民会議が広島市に寄贈した物品を、同市から貸与されたものである。

10 日本労働組合総連合会広島県連合会からの寄贈物品

(単位：円)

年 度	寄 贈 物 品	評 価 額
平成 10	気管支ファイバースコープ 1 組、高周波焼灼電源装置 1 台	2,477,916
13	自動赤血球沈降速度測定機 1 台 赤沈管 100 本	1,839,915
15	下部消化管用細径スコープ 1 本、カラービデオプリンター 1 台	3,200,400
合 計		7,518,231

11 職員

(令和8年7月1日現在)

課・科名		職 名	氏 名
事務局		事務局長	和 田 厚 志
		次長	岡 田 一 彦
	総務課	(事)課長	岡 田 一 彦
	経理課	課長	坪 井 誠
	健康管理課	(兼)課長	坪 井 誠
健康管理・ 増進センター		所長	上 野 義 隆
		副部長	本 山 か お り
	総合受付課	(事)課長	本 山 か お り
	総合健診科	科長	平 野 千 尋
	精密健診科	部長	小 島 純
	放射線科	技師長	吉 川 健
	ドック健診科	部長	松 本 善 明
	検査科	技師長	高 本 美 保
	看護科	看護師長	細 木 由 美
健康科学館		館長	上 田 茂
	管理課	(事)課長	上 田 茂
	教育課	課長	國 弘 祥 子

事業概要 令和 8 年（2026 年）版

公益財団法人 広島原爆障害対策協議会

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 8 番 6 号
広島市総合健康センター内

TEL 082-243-2451 (代表)

FAX 082-241-0414

URL <http://www.gentaikyo.or.jp/>
